

I 令和3年度事業報告

新宿区社会福祉協議会第4次経営計画2019～2023 施策と各事業

施策1 支えあい活動に参加するきっかけづくり	5
1. 福祉教育・福祉体験学習の推進	5
2. いつでも体験ボランティア	5
3. 介護支援等ボランティア・ポイント事業【区委託】	5
4. 視覚・聴覚障害者支援事業【区委託】	6
施策2 活動者の段階的な学びと活動継続への支援	7
1. 生活支援体制整備事業【区委託】	7
2. 地域活動者実践講座	10
3. 認知症高齢者等支援ボランティア養成講座事業【区委託】	11
4. ふれあい・いきいきサロンの運営支援	11
5. 成年後見センター事業【重点事業】	12
6. 地域ささえあい活動助成金	12
施策3 多様な生活課題を受け止める相談体制の充実と包括的な支援	16
1. 暮らしの総合相談事業【重点事業】	16
(1)暮らしの総合相談	16
(2)車椅子・地域行事用機材の貸出	17
2. 自立相談支援・貸付事業【重点事業】	18
(1)総合相談件数	18
(2)自立相談支援事業【区委託】	19
(3)生活福祉資金貸付事業【東社協委託】	19
(4)受験生チャレンジ支援貸付事業【区委託】	20
(5)ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業【東社協委託】	20
(6)応急小口資金貸付事業	20
(7)緊急援護事業	20
(8)新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金特例貸付	20
3. 成年後見センター事業【重点事業】	21
(1)成年後見制度利用推進事業【区委託】	21
(2)法人後見事業	23
(3)地域福祉権利擁護事業【東社協委託】	24
4. 避難者支援	25
施策4 住民同士の支えあいによる心豊かな暮らしの実現	25
1. ちょっと・暮らしのサポート事業	26
2. 地域見守り協力員事業【区委託】	27
3. ファミリーサポート事業【区委託】	28

施策5	さまざまな団体との連携による地域ネットワークの発展	29
1.	地域団体との連携【重点事業】	29
(1)	社会福祉法人としての公益的な取り組みの推進	29
(2)	民生委員・児童委員協議会との連携	30
(3)	町会・自治会等地域団体との連携	30
(4)	出前講座の実施	31
(5)	NPO・新宿CSRネットワーク等との市民活動の支援	31
(6)	食品配付会～子育て応援！フードパントリー～の実施	32
2.	生活支援体制整備事業（再掲）【区委託】	32
施策6	新宿社協の活動の理解促進のための広報・広聴機能の強化	32
1.	総合的な広報事業【重点事業】	32
(1)	ボランティア情報の発信	32
(2)	広報紙「けやき」等の発行	33
(3)	ホームページ、SNSの運用	34
2.	広聴事業【重点事業】	34
(1)	情報公開・個人情報保護	34
(2)	第三者委員会の設置	34
施策7	地域福祉推進のための財源基盤の拡充	34
1.	会費会員の拡充【重点事業】	34
2.	共同募金の普及・啓発（募金文化の醸成）【重点事業】	34
(1)	共同募金会新宿地区協力会理事会	34
(2)	赤い羽根共同募金	35
(3)	歳末・地域たすけあい運動募金	35
3.	寄附の募集【重点事業】	36
4.	収益事業（自販機の設置等）【重点事業】	36
施策8	新宿社協の組織運営と組織基盤の整備	36
1.	新宿社協の組織運営	36
(1)	理事会・評議員会・推進部会の運営	36
(2)	社協部会の運営	38
2.	職員の育成	39
3.	IT推進・情報管理	39
4.	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策	40
施策9	災害対策の推進	40
1.	災害時危機管理対策	40
2.	災害ボランティアセンターの運営支援等	41

1 支えあい活動に参加するきっかけづくり

1 福祉教育・福祉体験学習の推進

(1) 学校・団体への支援

種 別	対 象	内 容	延参加者数					
			令和3年度			令和2年度		
福祉教育の支援	幼稚園・子ども園 小学校・中学校 高等学校	各学校が行う福祉体験学習等への企画協力や講師紹介を行う。 地域の障害者や高齢者等との交流を通して、地域の身近な課題や生活者の多様性を感じ、考える機会を支援する。	東地区	513	人	東地区	160	人
			中央地区	333	人	中央地区	183	人
			西地区	89	人	西地区	306	人
			計	935	人	計	649	人
授業協力	大学 専門学校		東地区	0	人	東地区	17	人
			中央地区	0	人	中央地区	102	人
			西地区	33	人	西地区	70	人
			計	33	人	計	189	人
企業等への支援	企業 地域団体	企業・団体が開催する、福祉やボランティア、多様性理解等の学びの場への協力	東地区	43	人	東地区	0	人
			中央地区	0	人	中央地区	0	人
			西地区	0	人	西地区	0	人
			計	43	人	計	0	人
職場体験学習受入	中学校	区立中学校が実施する「職場体験学習」における、生徒の受け入れを協力※	東地区	0 校	0 人	東地区	—	
			中央地区	1 校	3 人	中央地区	—	
			西地区	0 校	0 人	西地区	—	
			計	3	人	計	—	

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、区立中学校より中止の連絡があった。

(2) 情報交換会

福祉教育の協力者・団体と教育委員会を対象に、情報交換・意見交換を行った。

開催日時	場 所	内 容	参 加 者
9月1日 13時30分～15時	社会福祉協議会 (WEB併用)	①講義「区内小中学校のタブレット導入及びオンライン化について(ICT)」 (講師:教育委員会教育指導課 池田守氏) ②情報交換	来所 3人 WEB 13人

2 いつでも体験ボランティア

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、現状でもできるボランティア活動を企画、実施した。

内 容		延参加者数	
		令和3年度	令和2年度
施設・団体等での体験ボランティア		8 人	—
おたよりボランティア		延78 人 (実数6名3団体)	延489 人 (実数286人)
敬老の日おたよりボランティア		127 人	—
オンライン体験ボランティア (施設とボランティアの自宅をオンラインでつなぎ、交流を行った。)	8月18日 「デイサービス笑み」との交流	4 人	—
	8月27日 「新宿福祉作業所」との交流	4 人	
	8月30日 「あゆみの家」との交流	5 人	

3 介護支援等ボランティア・ポイント事業(区委託事業)

(1) 登録者数

	令和3年度	令和2年度
参加登録者数 (うち重複者数)	1,193 人 (347 人)	1,195 人 (313 人)
内訳: 施設での活動者	451 人	550 人
地域見守り協力員	371 人	326 人
ちょこっと・暮らしのサポート事業協力員	276 人	225 人
家族会の活動者	26 人	26 人
認知症介護者家族会の活動者	25 人	24 人
地域安心カフェの活動者	44 人	44 人

(2) 施設でのボランティア活動

	令和3年度	令和2年度	
参加登録講習会の開催	4 回	1 回	
研修・交流会の開催	1 回	1 回	
受入施設数	79 ヲ所	77 ヲ所	
受入施設での実活動者 ※	183 人	118 人	※1年間の実活動者延べ人数

(3) 施設・団体ボランティア受入学習会

目 的	施設・団体のボランティア受入担当者を対象に、ボランティアコーディネーターとしての学習の機会と、分野を超えた情報交換及び地域との協働への視点を養う。		
開催日時	場所	内 容	参 加 者
11月15日 14時～ 15時45分	WEB	1 講義 「ボランティア活動の新しい形を考える」 講師：ルーテル学院大学総合人間学部教授、学術顧問 市川 一宏氏 ※介護支援等ボランティア・ポイント事業活動者向け研修と 合同開催 2 施設・団体受け入れ担当者連絡会	施設・団体職員 11人 (10施設・団体) ボランティア 17人

(4) 施設・団体ボランティアコーディネート事業

①登録数

	令和3年度	令和2年度
利用団体数	190 団体	196 団体
活動団体数	97 団体	121 団体
活動者数	1,211 人	1,522 人
延活動回数	1,400 回	873 回

未活動者向け活動継続調査及び施設・団体向け登録継続調査(3年毎)を実施した。

4 視覚・聴覚障害者支援事業(区委託事業)

(1) 利用者数

	令和3年度	令和2年度
視覚障害者交流コーナー	延 1,540 人	延 1,534 人
聴覚障害者交流コーナー	延 577 人	延 533 人

新型コロナウイルス感染症拡大に伴う緊急事態宣言等に伴い、開所時間を短縮。(通常は21時まで)

- ・令和2年4月1日～7月14日の間は、17時まで
- ・令和3年4月1日～9月30日の間は、20時まで

(2) サービス利用件数

	令和3年度	令和2年度
代読・代筆サービス	延 53 件	延 81 件

(3) 講座の開催支援

講座名	回数等	内 容	参加者
「子ども手話教室」	全5回(7/26・28・30・8/2・4)	小学生対象入門手話教室	5 人

入門手話教室は、8月28日から3月12日の間で全15回の講座を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施を中止した。

下記の講座は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、動画配信及び当日オンラインで実施。

動画公開日	方法	内 容	参加者申込
2月10日～ 2月28日	YouTube 動画視聴	『公共インフラ「電話リレーサービス」を使ってみよう!』 講師:筑波技術大学 産業技術学部 産業情報学科 准教授 井上正之氏	18 人
3月1日～ 3月31日	①当日オンライン ②YouTube 動画視聴	『キャッシュレス化の流れと視覚障害者』 講師:国立障害者リハビリテーションセンター 自立訓練 部機能訓練科 高平千世氏	① 13 人 ② 19 人

(4) 普及啓発

令和2年度から動画配信をしている『聞こえない人と話すために手話を学んでみよう！』について、「第3回 買い物編」、「第4回交通機関編」、「第5回新宿区の地名編」を作成し、YouTubeで公開した。

2 活動者の段階的な学びと活動継続への支援

1 生活支援体制整備事業（区委託事業）

生活支援コーディネーターを配置し、住民主体の訪問型・通所型サービス創出、生活支援の担い手養成、高齢者等が担い手として活動する場の推進等、地域全体で高齢者を支えるためのしくみづくりを行う。

(1) 生活支援体制整備協議会の運営

多様なサービス提供主体等が参画する定期的な情報の共有・連携強化の場が目的の協議会について、区と連携し、運営した。※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、来所・WEB併用で開催した。

回	開催日時	行事名	内 容	出席委員
1	7月9日 14時～16時	第1回 生活支援体制 整備協議会	・委員紹介及び副会長の互選について ・令和2年度の事業実施報告 ・令和3年度の取り組み ・生活支援体制整備に関する協議・意見交換 (1)「新たな日常」における支え合い活動について (2)(仮称)地域資源情報管理システムについて	来所 6 人 WEB 8 人
2	2月10日 14時～16時	第2回 生活支援体制 整備協議会	・講座・シンポジウム実施結果 ・通所型住民主体サービス事業について報告 ・「通いの場」運営団体へのヒアリング調査結果報告 ・「(仮称)地域資源情報管理システム」について 報告 ・第2層生活支援コーディネーターの活動報告 ・「地域支え合い活動の現状と今後の展開について」 意見交換 (1)現状の報告と今後の活動について (2)多様な主体が連携した地域支え合い活動に ついて	来所 2 人 WEB 11 人

(2) 調整部会との連携

地域課題の整理や生活支援体制整備協議会に向けた議題の整理を行うための調整部会（高齢者総合相談センター主催）に参加し連携した。

開催日時	行事名(圏域)	内 容
5月28日 16時～17時	調整部会 事前打合せ	区及び取りまとめ高齢者総合相談センター職員とともに、令和3年度調整部会の方向性及び議題に関する調整を行った。
6月8日 14時30分～16時	東圏域調整部会	・令和3年度の調整部会について ・意見交換 (1)令和3年度の普及啓発活動について (2)「新たな日常」における地域支え合い活動について (3)(仮称)地域資源情報管理システムを活用した地域支え 合い活動の充実に向けて
6月11日 13時30分～15時	西圏域調整部会	①必要な資源情報の種類(HP上のメニュー) ②システムに取り入れたい通いの場情報 ③関係職員が活用できる仕組み ④区民の利用を促すことができる仕組み
6月17日 10時～12時	中央圏域調整部会	
12月21日 15時～17時	西圏域調整部会 事前打合せ	・調整部会へ向けた内容の確認
12月20日 16時30分～17時	東圏域調整部会 事前打合せ	・各地区での取り組みの共有

開催日時	行事名(圏域)	内 容
1月12日 14時30分～16時	東圏域調整部会	・意見交換 (1)地域支え合い活動の今後の展開について ①令和3年度に予定していた普及啓発活動 ②「新たな日常」における地域支え合い活動 ③今後重点的に取り組みたい、または新たに取り組みたい「地域支え合い活動」への支援 (2)高齢者が地域の活動(例:通いの場、町会・自治会活動、ボランティア活動等)へ参加するために (3)「新宿区 医療・介護・通いの場情報検索サイト」の周知について
1月11日 10時～12時	中央圏域調整部会	
1月13日 10時～12時	西圏域調整部会	

(3) 普及啓発講座・情報交換会

効果的な事業展開を図るため、支え合いのしくみづくりに関する講座や情報交換会等を開催した。

【普及啓発講座】

① 社協他事業講座内での普及啓発

開催日時	場 所	内 容	参 加 者
7月20日 14時～16時	社会福祉協議会 (WEB併用)	新宿区成年後見センター「老い支度講座」 ・高齢者の活躍の場について ・地域の支えあい活動について ・医療、介護について ・成年後見制度、遺言、墓地について	来所 15 人 WEB 9 人
11月22日 14時40分～ 15時40分	社会福祉協議会	認知症サポーターステップアップ講座 ・オンライン体験ボランティアの振り返り ・地域包括ケアシステムについて ・地域全体で高齢者を支えるとは	8 人

② 普及啓発講座

開催日時	場 所	内 容	参 加 者
5月13日 10時～12時	WEB	「地域の課題と支えあい活動を考える」 講師:武蔵野大学 人間科学部 社会福祉学科 教授 熊田 博喜 氏	23 人
8月4日 13時～15時	WEB	「地域住民と専門職が連携していくために」 講師:淑徳大学 総合福祉学部 社会福祉学科 准教授 山下 興一郎氏	51 人

③ 普及啓発シンポジウム

開催日時	場 所	内 容	参 加 者
11月27日 13時30分～ 15時30分	WEB	「人生100年時代における新宿らしいつながり方」 講師:東京都健康長寿医療センター研究所 社会参加と地域保健研究チーム 研究副部長 村山 洋史氏 特別講演:バックンマックン	事前申込 150 人 当日視聴者数 72 人 後日動画再生回数 182 回

【情報交換会】

開催日時	場 所	内 容	参加者※
5月10日 14時30分～16時	社会福祉協議会 (WEB併用)	高齢者総合相談センター10箇所に配置されている、生活支援体制整備事業第2層生活支援コーディネーターとの意見交換及び情報交換を行った。	19 人
8月10日 13時～15時	WEB	地域活動に関心のある住民と専門職が、「地域住民と専門職との連携」をテーマに意見交換を行った。	34 人
9月10日 17時～18時30分	WEB	箕笥町・榎町地区ケアマネジャー自主学習会「成年後見センターの業務と地域活動支援課が取り組む住民活動の支援」をテーマに、介護支援専門員と社協職員で意見交換を行った。	21 人
11月5日 9時30分～ 11時30分	社会福祉協議会 (WEB併用)	高齢者総合相談センター10箇所に配置されている、生活支援体制整備事業第2層生活支援コーディネーターとの意見交換及び情報交換を行った。	19 人
2月18日 17時～18時30分	WEB	箕笥町・榎町地区ケアマネジャーと地域住民との意見交換会	30 人

※社協職員を含む

(4) 担い手養成講座

「捨てられない、片づけられない」について考える講座とワークショップ

目 的	住民主体の支えあい活動を開始するきっかけとして、制度の隙間にあるニーズに気づき、我が事としてとらえ活動に参加するようつなげていくことで、高齢者が地域で安心した生活を送るための地域支援体制整備を目的に実施した。			
内 容	回	開催日時 (動画公開日)	講座内容	講 師
	1	12月13日 14時30分～17時	①講義： 物やゴミを捨てられない、片づけられない背景にあると考えられる疾患。 疾患別アプローチの方法。 ②具体的事例： 片づけの実践事例や、片づけを通して知る当事者の思いについて、理解を深める。 ③ワークショップ： 課題解決へ向けたワークショップを行った。	社会福祉法人 浴風会 浴風会病院 東京都認知症疾患医療センター センター長 精神科医 古田 伸夫氏 医療相談・支援室長補佐 社会福祉士 精神保健福祉士 高橋 智哉氏 株式会社K-WORKER 住まいのサポート 総括部長 山上 智史氏
	2	12月13日 ～1月7日	地域包括ケアシステムについて	武蔵野大学人間科学部社会福祉学科 教授 熊田 博喜氏
受講者 (開催方法)	1回目:28人(WEB) 2回目:46回(YouTube動画視聴)			

(5) 会議や行事等への出席及び支えあいの体制整備による取り組み

地 区		内 容							地区別 合計
		1 関係づくり	2 普及 啓発	3 地域課題の 受け止め	4 ゆるやかな 見守り体制 づくり	5 支えあいの しくみの立 上げ支援	6 支えあいの しくみの 運営支援	7 福祉 教育	
東	令和 3年度	230 件	4 件	6 件	0 件	10 件	10 件	4 件	264 件
	令和 2年度	88 件	2 件	13 件	0 件	4 件	14 件	2 件	123 件
中央	令和 3年度	253 件	15 件	19 件	0 件	15 件	24 件	4 件	330 件
	令和 2年度	99 件	1 件	10 件	0 件	10 件	9 件	2 件	131 件
西	令和 3年度	224 件	11 件	21 件	1 件	8 件	34 件	7 件	306 件
	令和 2年度	115 件	17 件	43 件	0 件	9 件	35 件	10 件	229 件
合 計	令和 3年度	707 件	30 件	46 件	1 件	33 件	68 件	15 件	900 件
	令和 2年度	302 件	20 件	66 件	0 件	23 件	58 件	14 件	483 件

2 地域活動者実践講座

目 的	地域の一人ひとりが抱える暮らしの課題について、住民主体の新たな支えあい活動によって改善・解決を目指すことのできる人材養成
内 容	今年度は連続講座と、公開講座としてちょこっと・暮らしのサポート事業と合同でボランティア交流会を開催した。連続講座では、主に20代から40代の若い世代に向けて、地域活動に対して関心を高めるとともに、新たな実践者の養成を行うための講座を実施した。 公開講座（ボランティア交流会）では、シニア世代だけでなく現役世代にも関心の深い内容とすることで、新たな担い手の発掘につなげた。

(1) 連続講座

開催日時(動画公開日)	場 所	内 容	参加者
6月19日 13時30分～15時30分	WEB	連続講座 「今から始める新しい出会い！～働きながら、子育てしながらできる地域活動～」 講師：NPO法人こまちぶらす 多田 香奈氏、大塚 朋子氏	8人
7月1日～7月17日	WEB	動画視聴「地域の居場所の活動の様子」 事例提供者： ・多世代交流ラボにこりハハ 代表 藤岡 慶子氏 ・地域見守り協力員事業・ちょこっと暮らしのサポート事業 協力員 岩崎 綾子氏 ・みんなのリビング葛が谷 代表 佐藤 雅明氏	動画視聴 回数 60回
7月17日 13時30分～15時30分	WEB	連続講座 「今から始める新しい出会い！～働きながら、子育てしながらできる地域活動～」 講師：NPO法人こまちぶらす 多田 香奈氏、大塚 朋子氏	7人

(2)公開講座

開催日時	場 所	内 容	参加者
3月4日 18時30分～20時	WEB	(ちょこっと・暮らしのサポート事業、地域活動者実践講座合同企画 ボランティア交流会) 『「思っていること」を行動にうつすためのヒント』 講師:NPO法人 二枚目の名刺 代表 廣 優樹 氏 事例提供者:同法人事務局 白石 和彦 氏	46人

3 認知症高齢者等支援ボランティア養成講座事業（区委託事業）

(1)ステップアップ講座

目 的	在宅で生活する認知症高齢者やその家族を支援するために、必要な知識と対応スキルを習得するための講座を実施する。認知症サポーター養成講座終了後の地域活動支援講座として、チームオレンジ(※)活動への参加につなげる。
内 容	令和3年11月4日～11月22日にかけて全3回の講座(講義及びオンラインでのボランティア体験実習)を実施した。 ・11月 4日 医師による認知症の基本知識、在宅認知症高齢者の現状について ・11月11日 認知症家族介護者の体験談、認知症高齢者への支援方法について ・11月22日 区内高齢者施設とオンラインでつなぎ、体験ボランティア実習を実施
受 講 者	14 人
場 所	社会福祉協議会

※ 地域で把握した認知症の方の悩みや家族の身近な生活支援ニーズなど、ステップアップ研修などを受講した認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐしくみ

(2)フォローアップ講座

目 的	平成27年度～令和2年度認知症高齢者等支援ボランティア講座(現:認知症サポーターステップアップ講座)修了者を対象に、認知症高齢者等に関する対応力を向上させ、地域活動支援の充実を図り、住民同士の支えあいのまちづくりを推進することを目的として、実施した。
日 程	12月4日
内 容	「認知症の方を地域で支えるために」をテーマに、講義とグループワークを実施した。 講師:日本社会事業大学 社会福祉学部福祉援助学科 教授 下垣 光 氏 株式会社モテギ 新宿ケアセンター 森岡 真也 氏
受 講 者	12 人
場 所	社会福祉協議会

4 ふれあい・いきいきサロンの運営支援

(1)相談件数等

	令和3年度	令和2年度
新規立ち上げ相談	168 件	91 件
登録サロン継続支援	448 件	370 件
支援サロン件数	77 サロン	76 サロン
いきいきサロン傷害保険加入支援	75 サロン 13,837 人	72 サロン 4,706 人

(2)連絡会・交流会の実施

実施日時	行 事 名	内 容	場 所	参加者
5月13日 10時～ 12時	ふれあい・いきいきサロン活動者向け講座 (生活支援体制整備事業と合同)	「地域の課題と支えあいを考える」講座 (P8 参照) 1 講義 2 グループワーク	社会福祉協議会 (WEB併用)	23 人
7月27日 14時～ 15時30分	ふれあい・いきいきサロン情報交換会	1 サロンからの現況報告 ミマモcafe:下台 ひろみ氏 LSSC研究会:野口 卓也氏 2 交流・グループワーク 「サロン運営の課題・悩みについて」	WEB	24 人

- (3)「ふれあい・いきいきサロン活動集 子育てサロン特集」の配布
子育てサロンの普及を図り、活動への参加につなげるため、民生委員・児童委員の新生児訪問活動時に「ふれあい・いきいきサロン活動集～子育てサロン特集～」を4,859件の対象世帯へ配布した。
- (4)「サロン横のつながりグループ(メーリングリスト)」の作成支援
情報交換会に参加したサロン運営者から、サロン間でのネットワーク作りについて提案され「横のつながりグループ(メーリングリスト)」ができた。
- (5)「ふれあい・いきいきサロン活動集」の改訂

5 成年後見センター事業(重点事業)

21 ページに記載

6 地域ささえあい活動助成金

(1) 地域ささえあい活動助成

赤い羽根共同募金と歳末・地域たすけあい運動募金を活用し、地域の活動団体による支えあい・助けあい活動及び高齢者、障害者等の当事者団体による福祉活動等、地域のニーズに基づいた取り組みに対し助成している。令和3年度は全4回(3月・6月・9月・12月)申請のあった24事業に計3,106,000円を助成した。

☆…新規申請団体 7 団体 (前年度 2 団体)

主な分野	団体名	助成(申請)内容	決定額	種別番号
子ども・子育て	1 新宿こどもネットワーク	啓発講座の開催及び情報提供のためのホームページ更新費用	182,000 円	2
	2 西新宿子ども食堂	子ども食堂開催に伴う会場使用料	92,000 円	3
	3 特定非営利活動法人キッズ未来プロジェクト	子ども食堂実施に伴う会場使用料	40,000 円	3
	4 新宿こども食堂 たんすまち	子ども食堂実施に伴う会場使用料	48,000 円	3
	5 特定非営利活動法人遊びと文化のNPO 新宿こども劇場	親子向けオンライン講座実施費用	200,000 円	2
	☆ 6 ミマモcafé 西早稲田	地域活動団体の立ち上げ(子育てサロン)	65,000 円	5
障害	7 新宿区視覚障害者福祉協会	視覚障害者のための情報媒体の作成と発送	65,000 円	1
	8 NPO法人 こつこつ	生涯学習事業及び交流事業の実施費用	34,000 円	1
	9 特定非営利活動法人クレインハウス	地域生活支援プログラム事業(集団音楽療法)の実施費用	200,000 円	1
	10 社会福祉法人 日本視覚障害者団体連合	視覚障害者の将棋を通じた文化活動のための感染防止対策経費	80,000 円	1
	☆ 11 特定非営利活動法人ひまわりProject Team	在宅の重度障害児者のための訪問学習事業の実施費用	200,000 円	1
	12 特定非営利活動法人新宿ライフケアセンター	障害者と地域の人々が共に参加する運動会の開催及びその準備会の実施費用	197,000 円	1
	13 特定非営利活動法人 言語障害者の社会参加を支援するパートナーの会 和音	「失語症コミュニケーション支援講座」の実施費用	146,000 円	2
	14 特定非営利活動法人えがおさんさん	在宅の重度障害児者と家族のための交流事業の実施費用	200,000 円	1
	15 お絵かきくらぶ あいじえん	クリスマス会の実施費用	24,000 円	1

多世代・地域交流	16	三世代ふれあい祭 実行委員会	「三世代ふれあい祭」の実施費用	200,000 円	2
	17	チームおつまみ	男性の料理教室の実施費用	30,000 円	6
	☆ 18	よんでの会	地域活動団体の立ち上げ (読み聞かせを通じた地域活動)	153,000 円	5
	☆ 19	新宿美容CLUB リボン	地域活動団体の立ち上げ (美容と多世代交流サロン)	200,000 円	5
	☆ 20	須賀町町会	須賀町ふれあいサロンの実施費用	54,000 円	7
その他	☆ 21	公益社団法人 日本キリスト教婦人矯風会	シェルター利用の女性と子どものための音楽療法	200,000 円	1
	22	更生保護法人 斉修会	入所者のためのサマーコンサート、クリスマス会、生け花教室の実施費用	117,000 円	1
	23	特定非営利活動法人 新宿区レクリエーション協会	「新宿区レクリエーションフォーラム 2021」の実施費用	200,000 円	2
	24	ロータリーの会	地域課題の共有・普及啓発を目的とした展示会	179,000 円	2

合 計	令和3年度	申請事業	24 事業	交付決定金額 3,106,000 円 (内、返還額 371,000 円 (5 件))
		交付事業	24 事業	
	令和2年度	申請事業	21 事業	交付決定金額 2,170,000 円 (内、返還額 742,000 円 (8 件))
		交付事業	21 事業	

助成金の種別一覧(参考)

種別 番号	助 成 種 別	交付 決定数
1	団体による当事者活動を支援する事業	10
2	団体による地域福祉の視点が盛り込まれた事業(町会を除く)	6
3	主に子どもを対象とした食事支援及び学習支援事業	3
4	団体の周年行事等、経常経費では対応できない活動 (地域福祉につながるもの) (町会を除く)	0
5	地域福祉活動団体の立ち上げ	3
6	ふれあい・いきいきサロン等の継続活動支援	1
7	町会・自治会による支えあい・助けあい活性化の視点が盛り込まれた事業	1

(2) ふれあい・いきいきサロン 新型コロナウイルス感染症対応のための活動助成

赤い羽根共同募金と寄附金を原資として、区内の高齢者、障害者、子育て世代、ご近所同士などの集いの場であるふれあい・いきいきサロンの活動をするにあたり、新型コロナウイルス感染症の対応に関連する感染対策のための衛生用品費(マスク、手指消毒液等)を一律15,000円、活動費(オンラインサロンに使用するインターネット通信料、Web会議ツール有料プラン料、会場費等)を上限50,000円を助成している。

令和3年度は、全4回(3月・6月・9月・12月)申請のあった27事業に、計576,000円を助成した。

主な分野	サ ロ ン 名		決 定 額	サ ロ ン 名		決 定 額
子 育 て ・ 子 ど も	1	ブルーミング・맘	22,000 円	4	子育てサロン・リバーサイド中井(2回目)	4,000 円
	2	Hugmom	15,000 円	5	ミマモcafé 西早稲田	15,000 円
	3	子育てサロン・リバーサイド中井	33,000 円			
高 齢 者	6	えみの会	15,000 円	12	えんがわ落合	28,000 円
	7	健康マージャン憩いのサロン	15,000 円	13	高齢者の暮らしを考える会 あなたの手おしゃべり会	15,000 円
	8	サロン・DE・かたくり	15,000 円	14	グランパの会	35,000 円
	9	富久さくらサロン	65,000 円	15	ヨガサークル マリーズ	15,000 円
	10	スイトピー	15,000 円	16	いきいきサロン・こぶし	15,000 円
	11	つのはず合唱団	15,000 円	17	いきいきサロン・さんぽみち	15,000 円
障 害	18	よりみちサロン	41,000 円			
地 多 域 世 代 交 流 ・	19	須賀町ふれあいサロン	39,000 円	24	新宿美容CLUB リボン	15,000 円
	20	あけぼのカフェ	15,000 円	25	器 あうん	15,000 円
	21	気まぐれカフェ「フラット」	23,000 円	26	ぬくもりサロン	22,000 円
	22	LSSC研究会	32,000 円	27	ぬくもりサロン(2回目)	7,000 円
	23	Chicken Soup	15,000 円			
合 計			令和3年度	申請事業	27 件	交付決定金額 576,000 円 (内、返還額) 35,000 円
				交付事業	27 件	
			令和2年度	申請事業	23 件	交付決定金額 325,000 円
				交付事業	23 件	

(3)備品整備・施設整備助成

株式会社日本財託(新宿区西新宿)から寄附5,000,000円を受け、平成22年度から区内福祉施設等の備品整備・施設整備のために助成している(事務費79,000円を除く)。選考委員会による選考の結果、令和3年度は、申請21事業のうち、19事業に計4,954,000円を助成した。

☆…新規申請団体

	No	団体名	助成内容	決定額
備品整備	☆ 1	社会福祉法人 新宿区障害者福祉協会	蜂蜜採取用分離機の購入	178,000 円
	2	社会福祉法人 日本視覚障害者団体連合	複合コピー機の購入	200,000 円
	3	更生保護法人 斉修会	ふとん乾燥機2台、電子レンジ、スチームクリーナーの購入	83,000 円
	4	特定非営利活動法人 いっと	タブレット、キーボード、ペンシルの購入	166,000 円
	☆ 5	ミマモcafé 西早稲田	折りたたみ防災マットL×3枚の購入	125,000 円
	6	社会福祉法人 東京ヘレン・ケラー 協会 ヘレン・ケラー学院	AEDの購入	200,000 円
	7	特定非営利活動法人 新宿西共同作業所ラバンス	電子レンジ、冷蔵庫の購入	54,000 円
	8	特定非営利活動法人 えがおさんさん	電子血圧計、吸引器、タブレットの購入	154,000 円
	9	NPO法人 ゆったり〜の	パソコン 2台の購入	146,000 円
	10	社会福祉法人 結の会 オフィスクローバー	パソコン 2台の購入	149,000 円
	☆ 11	みんなの支援介護倶楽部	ボッチャボールセット、ダーツセットの 購入	77,000 円
	☆ 12	社会福祉法人 日本盲人福祉委員会	パソコン 1台、USBカメラ 1台の購入	181,000 円
	13	社会福祉法人 東京ムツミ会	蜂蜜採取用分離機の購入	178,000 円
	14	社会福祉法人 二葉保育園 二葉乳児院 地域子育て支援センター二葉	除湿機兼加湿空気清浄機の購入	45,000 円
施設整備	☆ 15	更生保護法人 更新会	カーペット張替工事	572,000 円
	☆ 16	社会福祉法人 聖母会 聖母ホーム	手洗い場設置工事	700,000 円
	☆ 17	社会福祉法人 若草福祉会 大久保わかさ子ども園	屋上園庭への遊戯施設整備	700,000 円
	☆ 18	みんなのリビング	調理場改善工事	690,000 円
	19	社会福祉法人 慈愛会 慈愛寮	ロールブラインド設置工事等	356,000 円
合 計			令和3年度	申請事業 21 事業 (内、新規申請 9 事業) (交付額) 4,954,000 円
				交付事業 19 事業 (内、新規申請 8 事業) (内、返還額) 33,000 円
				非交付事業 2 事業 (内、新規申請 1 事業)
			令和2年度	申請事業 24 事業 (内、新規申請 4 事業) (交付額) 4,916,000 円
				交付事業 23 事業 (内、新規申請 4 事業) (内、返還額) 57,000 円
				タブレット端末の購入及び事務費 141,000 円

3 多様な生活課題を受け止める相談体制の充実と包括的な支援

1 暮らしの総合相談事業（重点事業）

(1) 暮らしの総合相談

①小地域活動支援(ボランティア・市民活動センター・東分室・ボランティアコーナーの運営)

(ア) 新規相談件数

拠 点	令和3年度	令和2年度
ボランティア・市民活動センター（高田馬場事務所）	延 1,179 件	延 914 件
ボランティア・市民活動センター（東分室）	延 266 件	延 239 件
新宿社協ボランティアコーナー	延 429 件	延 193 件
箕笥町ボランティアコーナー	延 40 件	延 24 件
若松町ボランティアコーナー	延 58 件	延 23 件
大久保ボランティアコーナー	延 46 件	延 32 件
落合第一ボランティアコーナー	延 52 件	延 21 件
落合第二ボランティアコーナー	延 140 件	延 65 件
柏木ボランティアコーナー	延 93 件	延 28 件
合 計	延 1,874 件	延 1,346 件

(イ) ボランティアコーナー受付・問合せ件数

拠 点	内 容					
	総合相談				情報交換	
	ボランティア相談		一般相談			
	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
笹笥町ボランティアコーナー	92 件	30 件	56 件	13 件	1,230 件	903 件
若松町ボランティアコーナー	52 件	32 件	29 件	24 件	1,477 件	733 件
大久保ボランティアコーナー	54 件	43 件	37 件	18 件	1,251 件	809 件
落合第一ボランティアコーナー	52 件	27 件	11 件	19 件	1,133 件	1,144 件
落合第二ボランティアコーナー	119 件	58 件	51 件	58 件	1,773 件	1,119 件
柏木ボランティアコーナー	78 件	32 件	41 件	18 件	1,373 件	718 件
合 計	447 件	222 件	225 件	150 件	8,237 件	5,426 件

※ ボランティア相談はボランティア活動希望及び利用希望の総数

(ウ) ボランティア保険の加入手続き件数

	令和3年度	令和2年度
ボランティア保険加入者 （うち天災プラン加入者）	4,517 人 （ 253 人）	4,948 人 （ 257 人）
行事保険加入件数	107 件	41 件
行事保険(当日参加対応型)加入件数	106 件	17 件

※行事保険(当日参加対応型)は、平成29年12月より開始

(エ) 使用済み切手の収集・整理

	令和3年度	令和2年度	送付先	用 途
収集・整理数 (換金相当額)	70.8 kg (約 135,340 円)	46 kg (約 82,800 円)	公益社団法人 日本キリスト教 海外医療協力会	発展途上国における出生時に 必要な医薬器具・薬品購入経 費等

(オ) 食事用エプロン(一組2枚)の無料配布

本会が寄附を受けたタオル(新品)を活用し、ボランティアが作製したエプロンを各拠点で配布した。

配布先	令和3年度	令和2年度
個 人	12 組	0 組
施設・団体	133 組	82 組

(2) 車椅子・地域行事用機材の貸出

①保有台数

種 別	令和3年度	令和2年度
自走型(大型1含む)	84 台	110 台
介助型	93 台	93 台
子供用	2 台	6 台
合 計	179 台	209 台

②寄附を受けた車椅子と無償譲渡した車椅子

	令和3年度	令和2年度
寄 附	27 台	31 台
譲 渡	15 台	18 台

※ 貸出期間5年を経過した車椅子について、点検のうえ町会・自治会、福祉施設等に無償譲渡している。

③貸出拠点と貸出実績

(ア) 社会福祉協議会延べ取扱件数・・・短期貸出(2週間程度)及び長期貸出(4か月)

貸 出 拠 点	新 規		更 新	
	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
ボランティア・市民活動センター(高田馬場事務所)	177 件	131 件	49 件	24 件
ボランティア・市民活動センター(東分室)	63 件	45 件	18 件	7 件
簗笥町ボランティアコーナー	19 件	18 件	3 件	1 件
若松町ボランティアコーナー	79 件	25 件	11 件	3 件
大久保ボランティアコーナー	89 件	44 件	9 件	9 件
落合第一ボランティアコーナー	35 件	26 件	6 件	13 件
落合第二ボランティアコーナー	81 件	30 件	11 件	2 件
柏木ボランティアコーナー	21 件	17 件	0 件	1 件
合 計	564 件	336 件	107 件	60 件

(イ) 特別出張所延べ取扱台数・・・短期貸出(2週間程度)のみ

特別出張所名	令和3年度	令和2年度	特別出張所名	令和3年度	令和2年度
四谷特別出張所	64 台	43 台	戸塚特別出張所	13 台	6 台
簗笥町特別出張所	55 台	24 台	落合第一特別出張所	24 台	64 台
榎町特別出張所	91 台	34 台	落合第二特別出張所	40 台	27 台
若松町特別出張所	51 台	45 台	柏木特別出張所	41 台	33 台
大久保特別出張所	75 台	62 台	角筈特別出張所	30 台	34 台
			合 計	484 台	372 台

④地域行事用機材の貸出

機 材 名	貸出件数		機 材 名	貸出件数	
	令和3年度	令和2年度		令和3年度	令和2年度
綿菓子機	2 件	3 件	テント(中)	0 件	0 件
ポップコーン機	1 件	0 件	鉄板焼機	0 件	0 件
臼と杵(セット)	2 件	1 件	輪投げセット	4 件	1 件
発電機	0 件	2 件	ゲーゴルゲーム	1 件	1 件
テント(大)	0 件	0 件	ボッチャ	30 件	一 件
			合 計	40 件	8 件

※令和3年度はボッチャを追加した。

⑤福祉教育・体験学習用機材の保有台数・貸出数

(ア) 高齢者疑似体験セットの貸出内訳

学校・ 団体等	高齢者疑似体験セット(大人) 【保有10セット】				高齢者疑似体験セット(キッズ) 【保有10セット】			
	令和3年度		令和2年度		令和3年度		令和2年度	
	貸出件数	貸出数	貸出件数	貸出数	貸出件数	貸出数	貸出件数	貸出数
小学校	0 件	0 セット	1 件	1 セット	2 件	20 セット	2 件	20 セット
中学校	0 件	0 セット	0 件	0 セット	0 件	0 セット	0 件	0 セット
高 校	0 件	0 セット	0 件	0 セット	0 件	0 セット	0 件	0 セット
大 学	0 件	0 セット	0 件	0 セット	0 件	0 セット	0 件	0 セット
専門学校	2 件	15 セット	2 件	15 セット	0 件	0 セット	0 件	0 セット
企 業	1 件	2 セット	6 件	21 セット	0 件	0 セット	0 件	0 セット
団 体	2 件	16 セット	4 件	7 セット	0 件	0 セット	0 件	0 セット
合 計	5 件	33 セット	13 件	44 セット	2 件	20 セット	2 件	20 セット

(イ)体験用車椅子の貸出内訳

学校・ 団体等	体験用車椅子(自走式) 【保有台数30台】				スポーツ競技用車椅子 【保有台数13台】			
	令和3年度		令和2年度		令和3年度		令和2年度	
	貸出件数	貸出台数	貸出件数	貸出台数	貸出件数	貸出台数	貸出件数	貸出台数
小学校	5 件	58 台	2 件	15 台	0 件	0 台	0 件	0 台
中学校	0 件	0 台	0 件	0 台	0 件	0 台	0 件	0 台
高 校	0 件	0 台	0 件	0 台	0 件	0 台	0 件	0 台
大 学	2 件	7 台	0 件	0 台	0 件	0 台	0 件	0 台
専門学校	4 件	24 台	2 件	20 台	0 件	0 台	0 件	0 台
企 業	1 件	1 台	0 件	0 台	3 件	19 台	0 件	0 台
団 体	2 件	5 台	5 件	6 台	4 件	33 台	1 件	12 台
合 計	14 件	95 台	9 件	41 台	7 件	52 台	1 件	12 台

2 自立相談支援・貸付事業(重点事業)

社会的孤立、経済的困難、単身高齢世帯の増加、8050問題などを背景とした、従来の支援体制では対応の難しい複雑化・複合化した課題に対応するため、区や関係機関、社協各事業間の調整を図り、総合的な相談支援を行った。

令和2年3月25日に開始した「新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金特例貸付」について、引き続き相談対応を行った。

(1)総合相談件数

①新規相談件数

令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
6,287 件	13,087 件	1,009 件	658 件

(ア)男女別内訳

	男性	女性	不明	合計
令和3年度	4,173 人	2,111 人	3 人	6,287 人

(イ)年代別内訳

	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	不明	合 計
令和3年度	10 人	657 人	1,966 人	1,463 人	1,300 人	538 人	285 人	59 人	9 人	6,287 人

②継続相談件数 ※借入世帯、各事業登録者への対応

継続相談件数内訳	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
継続相談件数(延べ数)	2,676 件	2,905 件	4,946 件	2,913 件

(ア)継続相談件数 内容内訳

	教育支援資金	福祉資金 (福祉費)	緊急小口資金	総合支援資金	不動産担保型生活福祉資金	受験生 チャレンジ 支援資金	応急小口 資金	自立相談 支援	VC 事業等	合 計
令和 3年度	859 件	108 件	64 件	226 件	20 件	927 件	161 件	266 件	45 件	2,676 件

③事業利用決定件数

	教育支援資金	福祉資金 (福祉費)	緊急小口資金	総合支援資金	不動産担保型生活福祉資金 (要保護世帯向け含)	受験生 チャレンジ 支援資金	応急小口 資金	自立相談 支援	合 計
令和 3年度	10 件	1 件	2 件	0 件	0 件	112 件	14 件	6 件	145 件
令和 2年度	7 件	0 件	0 件	1 件	0 件	122 件	12 件	65 件	207 件

(2) 自立相談支援事業〔区委託事業〕

	令和3年度	令和2年度
新規相談件数	56 件	100 件
利用申込件数	6 件	65 件
プランによる支援申込件数	1 件	0 件
支援調整会議開催回数	3 回	1 回
支援調整会議における取扱いケース数	6 件	4 件

(3) 生活福祉資金貸付事業〔東社協委託事業〕

①生活福祉資金貸付事業

種 別 ()は人数	令和3年度		令和2年度	
	決定件数	金 額	決定件数	金 額
教育支援資金	10 (7) 件	10,004,000 円	7 (7) 件	9,865,500 円
福祉資金・福祉費	1 (1) 件	3,696,000 円	0 (0) 件	0 円
福祉資金・緊急小口資金	2 件	173,000 円	0 件	0 円
臨時特例つなぎ資金	0 件	0 円	0 件	0 円
総合支援資金	0 (0) 件	0 円	1 (1) 件	111,000 円
うち住宅入居費	0 件	0 円	0 件	0 円
うち一時生活再建費	0 件	0 円	0 件	0 円
うち生活支援費	0 件	0 円	1 件	111,000 円
不動産担保型生活資金	0 件	0 円	0 件	0 円
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0 件	0 円	0 件	0 円
合 計 ()は人数	13 (10) 件	13,873,000 円	8 (8) 件	9,976,500 円

(ア)不動産担保型生活資金内訳

令和3年度貸付状況		令和2年度貸付状況	
累計貸付者数	2 人	累計貸付者数	2 人
累計貸付決定額	42,070,000 円	累計貸付決定額	42,070,000 円

(イ)要保護世帯向け不動産担保型生活資金内訳

令和3年度貸付状況		令和2年度貸付状況	
累計貸付者数	4 人	累計貸付者数	4 人
(貸付限度額到達者 1 人含む)		(貸付限度額到達者 1 人含む)	
累計貸付決定額	29,450,000 円	累計貸付決定額	29,450,000 円

②債権件数(東社協発行償還状況一覧表に基づく管理債権件数)

		令和3年度	令和2年度
教育支援資金・福祉資金(福祉費・緊急小口資金)		426 件	437 件
総合支援資金	本則	461 件	8,708 件 ※
	特例貸付	17,481 件	
生活復興支援資金		2 件	2 件
不動産担保型生活資金		2 件	2 件
要保護世帯向け不動産担保型生活資金		3 件	3 件
離職者支援資金(平成21年10月25日終了)		66 件	67 件
合 計		18,441 件	9,219 件

※特例貸付
実績含む

③生活福祉資金償還率

	令和3年度		令和2年度	
	当年度	過年度	当年度	過年度
教育支援資金・福祉資金 (福祉費・緊急小口資金)	64.07 %	16.27 %	64.00 %	14.89 %
総合支援資金	29.73 %	2.72 %	32.30 %	4.39 %
生活復興支援資金	0.00 %	0.00 %	0.00 %	0.00 %
合 計	54.86 %	7.37 %	53.44 %	7.22 %

(4)受験生チャレンジ支援貸付事業〔区委託事業〕

種 類	令和3年度		令和2年度	
	決定件数	金 額	決定件数	金 額
中3学習塾	35 件	6,887,800 円	28 件	5,455,100 円
中3受験料	35 件	787,000 円	26 件	640,300 円
高3学習塾	20 件	3,912,900 円	31 件	5,671,900 円
高3受験料	22 件	1,479,800 円	37 件	2,504,000 円
合 計 ()は世帯数	112 件 (59 世帯)	13,067,500 円	122 件 (64 世帯)	14,271,300 円

(5)ひとり親家庭高等職業訓練促進資金貸付事業〔東社協委託事業〕

	令和3年度	令和2年度
相談者数	0 人	1 人
決定件数(人数)	0 件(0 人)	1 件(1 人)
貸付不可者数	0 人	0 人

※東京都及び都内区市が実施する母子及び父子並びに寡婦福祉法による母子・父子家庭高等職業訓練促進給付金の受給者が対象となる事業。

(6)応急小口資金貸付事業

		令和3年度	令和2年度
当年度	貸付決定件数	14 件	12 件
	貸付決定金額	850,500 円	845,000 円
	償還件数	97 件	164 件
	償還調定額	567,375 円	1,658,220 円
	償還金額	500,700 円	1,337,540 円
	未償還額	66,675 円	320,680 円
	償還率	88.25 %	80.66 %
過年度	償還件数	9 件	12 件
	償還調定額	2,983,420 円	2,795,920 円
	償還金額	41,800 円	83,400 円
	償還率	1.4 %	2.98 %
	延滞利子収入	0 円	0 円
債 権 件 数		60 件	56 件

(7)緊急援護事業

	令和3年度	令和2年度
支給・貸付件数	1,965 件	2,303 件
返済件数	899 件	1,107 件
支給・貸付金額	4,155,794 円	5,640,782 円

(8)新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金特例貸付

新型コロナウイルス感染症の影響による休業や失業等により、一時的又は継続的に収入減少した世帯に向けた、緊急小口資金・総合支援資金(生活支援費)の特例貸付を行った。
(受付開始は令和2年3月25日)

	問合せ 対応件数	相談来所	申請件数			申請件数※		合計
			緊急小口 資金	総合支援 資金	小計	総合支援 (延長)	総合支援 (再貸付)	
令和 3年度	5,872 件	5,426 件	3,282 件	3,184 件	6,466 件	1,007 件	3,812 件	11,285 件
令和 2年度	12,790 件	17,250 件	10,318 件	7,977 件	18,295 件	3,853 件	3,479 件	25,627 件
R2.3.25～ R4.3.31 累計	18,955 件	22,676 件	13,663 件	11,161 件	24,824 件	4,860 件	7,291 件	36,975 件

※総合支援(延長)は、令和3年6月30日をもって申請受付終了
総合支援(再貸付)は、令和3年12月31日をもって申請受付終了

3 成年後見センター事業（重点事業）

(1) 成年後見制度利用推進事業〔区委託事業〕

① 成年後見・権利擁護相談窓口の設置

(ア) 体制

一般相談	月～金曜日の午前8時30分～午後5時
専門相談	毎週月・水・金曜日の午後1時～4時 月曜日 司法書士（公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート東京支部） 水曜日 弁護士（東京弁護士会） 金曜日 社会福祉士 （公益社団法人東京社会福祉士会権利擁護センター「ばあとなあ東京」）
訪問専門相談	司法書士、社会福祉士及び弁護士による訪問相談
推進機関支援弁護士	東京弁護士会弁護士による法的支援

(イ) 実績

・新規相談者数

令和3年度	223 人
令和2年度	182 人

・相談者数（問合せ・相談延べ人数）

	相談者数	一般相談	専門相談	司法書士	弁護士	社会福祉士	訪問 （司・社・弁）
令和3年度	1,813 人	1,671 人	142 人	41 人	63 人	33 人	5 人
令和2年度	1,520 人	1,398 人	122 人	33 人	56 人	32 人	1 人

※一般相談（職員による相談）の合計：問合せ・相談累計件数を含む。

・相談内容

内 容	件 数		内 容	件 数	
	令和3年度	令和2年度		令和3年度	令和2年度
法定後見	1,048 件	1,024 件	金銭管理	380 件	607 件
法定後見（親族後見）	156 件	—	財産保護	27 件	29 件
任意後見	174 件	181 件	生活	627 件	983 件
法定後見（法人）	22 件	34 件	虐待	6 件	10 件
任意後見（法人）	51 件	99 件	苦情	4 件	10 件
相続	64 件	53 件	その他	447 件	341 件
遺言	27 件	38 件	合 計	3,033 件	1,429 件

※相談内容は複数カウント

・相談対応結果

対応・結果	件 数		対応・結果	件 数	
	令和3年度	令和2年度		令和3年度	令和2年度
制度説明	204 件	167 件	機関支援専門家	2 件	3 件
書類配付	48 件	51 件	金銭管理	48 件	110 件
申立書作成支援	29 件	38 件	財産保護	0 件	5 件
第三者紹介	25 件	21 件	生活支援	142 件	214 件
法人後見	3 件	2 件	助言	414 件	280 件
家裁同行	0 件	0 件	情報提供	1,399 件	1,518 件
申立・報酬助成案内	5 件	3 件	苦情対応・解決	1 件	0 件
専門相談員	275 件	251 件	その他	605 件	370 件
※相談対応は複数カウント			合 計	3,200 件	3,033 件

②広報・普及宣伝

(ア) 広報活動(制度・相談窓口・成年後見センター・講演会等案内)

・広報新宿	8 回掲載
・新宿社協だより「けやき」	4 回掲載
・パンフレット「成年後見制度とは」	適宜配布
・チラシ「成年後見制度のご案内」	適宜配布
・成年後見センターだより	第 18 号 3,600 部発行 第 19 号 3,600 部発行
・チラシ「成年後見センター 専門相談のご案内」	適宜配布

(イ) 普及活動

・講演会・出前講座等の実施	11 回	282 人参加
・その他普及啓発活動(町会、民児協等)	延 50 回	

③後見人等養成・活動支援

(ア) 新宿区登録後見活動メンバー(社会貢献型後見人) 支援・養成

	令和3年度	令和2年度
登録者数	76 人	74 人
連絡会・研修会 開催回数	6 回	6 回
成年後見人等 受任件数	14 件 (補助 0 保佐 4 後見 10)	14 件 (補助 0 保佐 4 後見 10)
後見監督等受任件数	14 件	14 件
成年後見人等 年度受任件数	H22 3件、H23 1件、H24 3件、H25 5件、H27 3件、H28 5件 H29 3件、H30 2件、R1 4件、R2 5件、R3 2件(受任14件、終了22件)	
後見監督業務件数等	18 件 543 回	18 件 373 回

(後見監督業務は終了した4件も含む)

(イ) 後見人等支援

	令和3年度	令和2年度
相 談	随時対応	随時対応
後見人交流会(Café)	2 回 15 人※	2 回 11 人
個別支援	延 70 人 1,245 回 (後見監督18件、監督業務実施回数含む)	延 80 人 720 回 (後見監督18件、監督業務実施回数含む)

※8月に予定していた後見人交流会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。

(ウ) 市民後見人養成基礎講習

受講者	令和3年度				令和2年度			
	説明会 参加者	講習 申込者	受講 決定者	選考合格 登録者	説明会 参加者	講習 申込者	受講 決定者	選考合格 登録者
全体	21 人	33 人	14 人	9 人	25 人	15 人	13 人	10 人
男性		16 人	6 人	4 人		5 人	4 人	3 人
女性		17 人	8 人	5 人		10 人	9 人	7 人

※養成基礎講習説明会(新宿区実施)

・養成基礎講習

講習期間 令和3年10月27日～12月1日

講習時間 6日間(24時間)

・登録後見活動メンバー登録選考

選考日 令和3年12月17日

選考内容 筆記及び個人面接

選考合格者 9人(男性4人、女性5人)

(エ) 親族後見支援(令和3年4月開始)

	令和3年度
支援対象実人数	23 人
延べ支援回数	201 回
成年後見利用検討・支援会議の開催回数	4 回

検討・支援会議委員・・・弁護士、司法書士、社会福祉士、行政職員 計5人
第2回は書面開催

④地域の社会資源との連携・協力による支援活動(専門家・福祉関係者等の関係強化・連携)

	令和3年度	令和2年度
連絡会議等(民生児童委員協議会ほか)	4 回	1 回
意見交換等(弁護士会等専門職団体ほか)	13 回	6 回
事業協力(セミナー講師派遣、講座開催支援、視察受入等)	0 回	0 回

⑤成年後見推進機関の運営

運営委員会 の開催	令和3年度	令和2年度
	3 回	3 回

運営委員 …… 弁護士、司法書士、社会福祉士、医師、民生委員、社協理事、高齢者総合相談センター職員、学識経験者、福祉団体職員、行政職員 計12人

オブザーバー …… 金融機関 計2人

専門委員会 の開催	令和3年度		令和2年度	
	0 回	令和3年度は 未設置	0 回	令和2年度は 未設置

⑥行政等との連携

(ア)新宿区との連携、福祉部との打合せ会等	4 回
(イ)東京都、東社協との連携、利用者支援区市町村連絡会会議等	5 回

(2)法人後見事業〔区補助事業〕

① 相談支援

(ア)新規相談者数

令和3年度	5 人
令和2年度	14 人

(イ)相談者数(問合せ・相談延べ人数)

	相談者数						
		一般相談	専門相談	司法書士	弁護士	社会福祉士	訪問 (司・社・弁)
令和3年度	251 人	249 人	2 人	0 人	1 人	1 人	0 人
令和2年度	452 人	449 人	3 人	2 人	0 人	1 人	0 人

②受任状況

(ア)法人後見受任検討委員会の開催

委員会の開催	令和3年度	令和2年度
	4 回	4 回

受任検討委員…… 弁護士、司法書士、社会福祉士、行政職員 計5人

(イ)受任概況

	法定後見		任意後見	
	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
後見人等候補者 承諾状況	2 件	2 件	0 件	2 件
後見人等受任状況	7 件 (後見 6 件) (保佐 1 件)	5 件 (後見 4 件) (保佐 1 件)	8 件	8 件
終了件数	1 件	2 件	1 件	1 件
後見等監督人 受任状況	14 件	14 件		

(後見監督人受任状況は再掲)

(ウ)活動状況 (件)

	法定後見		任意後見	
	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
後見人等活動状況	1,262	1,590	439	406
後見等監督人活動状況	15	18		

(後見監督人活動状況は、終了した1件も含む)(再掲)

③ 広報・普及宣伝

(ア)広報活動(事業等案内)

・広報新宿	1 回掲載
・新宿社協だより「けやき」	1 回掲載
・ぬくもりだより	0 回掲載
・パンフレット「成年後見制度とは」	適宜配布
・チラシ「新宿区社会福祉協議会が法人として成年後見人等になります」	適宜配布

(イ)任意後見事業説明会の開催 2 回 25 人参加

(3)地域福祉権利擁護事業〔東社協委託事業〕

①事業実績

(件)

内 容	認 知 症	知的障害	精神障害	その他 ※1	合 計	
					令和3年度	令和2年度
問合せ件数 (制度・事業等)	7	0	6	39	52	55
初回相談件数	89	7	6	3	105	152
新規契約件数	23	0	3	1	27	31
()は生活保護受給者数	(14)	(0)	(3)	(1)	(18)	(15)
解約件数	20	2	2	3	27	32
()は生活保護受給者数	(10)	(1)	(1)	(2)	(14)	(16)
年度末の契約件数	75	8	21	4	108	108
()は生活保護受給者数	(45)	(6)	(16)	(3)	(70)	(65)
うち通帳・ 印鑑預かり	25	3	11	3	42	41
()	(21)	(2)	(9)	(2)	(34)	(29)
うち書類等 預かり	0	0	0	0	0	3
()	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
延契約件数	95	10	23	7	135	140
()は生活保護受給者数	(55)	(7)	(17)	(5)	(84)	(81)
専門員延相談援助件数	3,782	458	422	65	4,727	7,389
()	(1,138)	(111)	(98)	(4)	(1,351)	(2,139)
()は 訪問や 会議等 の回数	1,425	101	351	35	1,912	3,725
契約者	(582)	(11)	(76)	(2)	(671)	(1,050)
契約外(契約前・ 解約後等)	2,357	357	71	30	2,815	3,664
()	(556)	(100)	(22)	(2)	(680)	(1,089)
生活支援員 ※2 延援助件数(契約者)	706	106	226	61	1,099	1,077

※1 高次脳機能障害、病気等

※2 生活支援員数 75名

②解約理由

(件)

死亡	施設入所・ 長期入院	判断能力 低下	本人自立	他地区へ 転居	その他
7	11	7	0	1	1

③成年後見制度の申立支援・連携及び活用実績

(件)

対 象 者	令和3年度	令和2年度
地域福祉権利擁護事業契約者	9	4
上記以外の相談者	31	29

・契約者外預かり

申立前、地域福祉権利擁護事業(地権) 契約前の保全等 (件)

	保管件数	延べ件数	内 訳	
令和3年度	22	27	申立前 22	地権契約前 5
令和2年度	17	29	申立前 23	地権契約前 6

④その他

- ・地域福祉権利擁護事業 事業説明会の開催 6 回
- ・生活支援員連絡会の開催(1回目は1年目のみ対象) 2 回
- ・東社協等が主催する外部の専門員、生活支援員研修会に参 10 回

4 避難者支援

(1)さんさん広場の運営支援

開催日時	場 所	内 容	開催状況	
			令和3年度	令和2年度
原則 毎月第2 土曜日 午後1時 ～4時	都営百人 町四丁目 アパート 14号棟 集会室	学生ボランティアによるネットワーク「joy study project(※)」が主体となって、主に子どもの学習と遊びの支援、家族交流の場「さんさん広場」を平成24年2月から周辺住民や支援団体と協力して開催した。 平成28年4月から学生団体と自治会の自主運営でサロンを数回開催し、令和元年度に地域の自主活動となった。 今後も地域活動(サロン)支援を継続していく。	地域の自主活動へ移行となったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未開催	地域の自主活動へ移行となったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため未開催

※ joy study project…

大学生のボランティアネットワークによる、区内に居住する東北からの避難者のサポートを目的とした支援活動である。

百人町周辺の既存住民との関係づくりをはじめ、地域の活性化に活動の重点を置き、地元住民や町会、支援団体や企業と連携した活動を展開している。

(2)情報紙「交流サロン通信」の発行及び配布

目 的	避難者向け情報紙を発行し、区所管課とともに戸別訪問配布により転居先などに関する情報、避難者に必要な情報などを届ける
内 容	・情報紙発行回数 : 12 回 ・配布戸数 : 延 94 戸

4 住民同士の支えあいによる心豊かな暮らしの実現

ボランティア・市民活動コーディネート事業

	令和3年度	令和2年度
活動登録者数 *	1,559 人	1,870 人
活動団体数	146 団体	166 団体
新規ボランティア活動希望者数 (内訳①②)	170 人	83 人

* ちょこっと・暮らしのサポート事業協力員、地域見守り協力員、施設でのボランティア活動者

※未活動者向け活動継続調査及び施設・団体向け登録継続調査(3年ごとに実施)を実施した。

①男女別内訳

	男性	女性	不明	合計
令和3年度	58 人	112 人	0 人	170 人
令和2年度	32 人	51 人	0 人	83 人

②年代別内訳

	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	不 明	合 計
令和3年度	0 人	25 人	22 人	25 人	31 人	26 人	22 人	16 人	3 人	170 人
令和2年度	0 人	1 人	11 人	10 人	16 人	18 人	9 人	18 人	0 人	83 人

1 ちょこっと・暮らしのサポート事業

(1) 登録者数

	令和3年度	令和2年度
利用者	1,356 人	1,226 人
協力者	499 人	510 人
協力団体	10 団体	11 団体
延べ活動回数	延 1,327 回	延 1,411 回
新規マッチング数	432 回	294 回

主な活動内容		(主として継続活動)				(単発活動)	
		掃除	買い物	食事づくり	外出付添い	軽作業等 ※無償	その他活動 ※有償含む
令和3年度	有償活動数	316 件	137 件	35 件	245 件	190 件	173 件
	無償活動数	37 件	32 件	19 件	39 件		
令和2年度	有償活動数	474 件	217 件	152 件	200 件	161 件	96 件
	無償活動数	68 件	56 件	36 件	20 件		

(2) 普及啓発講座の実施

地域の中で気になる人、心配な人がいた際の「気づきのポイント」や「気づいた後の対応方法」について参考にしてできる講座動画をYouTubeを活用して配信し、これからボランティア活動を始めようとする方のきっかけをつくることと、現状でもできるボランティア活動を周知した。

配信日	内 容	講 師
7月1日	気になる親子への声掛け 「気づきのポイント」 「具体的な対応方法」	特定非営利法人 せたがや子育てネット 代表理事 松田 妙子氏
3月31日	気になる高齢者への声掛け 「気づきのポイント」 「具体的な対応方法」	筆筒町高齢者総合相談センター 大塚 香氏
3月31日	気になる障害者への声掛け 「気づきのポイント」 「具体的な対応方法」	新宿区手をつなぐ親の会 疑似体験キャラバン隊「Winds」 代表 中川 淑江氏

生活支援体制整備事業と合同で、制度の隙間にあるニーズに気づき、理解を深め、住民主体の支えあい活動を開始するきっかけとする。(P9参照)

実施日時	行 事 名	内 容	場 所	参加者
12月13日 14時30分～ 17時	ちょこっと・暮らしの サポート事業 担い手養成講座 (生活支援体制整備 事業と合同)	気づきからつながる地域へ～「捨てられない、片づけられない」について考える～講座とワークショップ 1 講義 2 具体的事例 3 ワークショップ	社会福祉協議会 (WEB開催)	28 人

(3) ボランティア交流会の開催

地域活動者実践講座と合同で、社協登録協力員等の地域活動者及び地域活動に興味関心のある参加者を対象に、交流会を開催した。交流会を通じて、参加者同士が知り合い、互いの活動を知ること、地域での支えあい活動の理解を深めた。

目的	会社員として仕事をもちながら、地域活動が続ける体験談や、肩書、立場を超えてチャレンジする方の実践例を紹介することで、シニア世代だけでなく現役世代にも関心が深い内容とし、新たな担い手の発掘につなげる。		
実施日時	内 容	参加者数	場 所
3月4日 18時30分～ 20時	『思っていること』を行動にうつすためのヒント 講師 NPO法人二枚目の名刺 代表 廣 優樹氏	46 人	社会福祉協議会 (WEB開催)

2 地域見守り協力員事業（区委託事業）

(1) 実施状況

地域見守り協力員事業	令和3年度	令和2年度
利用者数	564 人	577 人
協力員数	420 人	383 人
延べ訪問回数	延 12,478 回	延 11,421 回
電話対応回数	延 1,669 回	延 3,107 回

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、9月は協力員による訪問活動を休止し、職員が電話で安否確認を行った。

(2) 新規登録者数

	令和3年度	令和2年度
利 用 者	110 人	79 人
活 動 者	90 人	43 人

(3) 地域見守り協力員・各地区連絡会・全体会の開催

各地区地域見守り協力員連絡会

地 区	場 所	内 容	参加者数
東	四谷 社会福祉協議会 (WEB併用)	・講話:「新たな日常での高齢者・地域の現状・ 見守るポイント」 ・講師:各地区高齢者総合相談センター ・情報交換会	15 人
	簗笥町 WEB		10 人
	榎町		9 人
中央	若松町 大久保 戸塚 社会福祉協議会 (WEB併用)		34 人
西	落合第一・ 落合第二		30 人
	柏木・角筈		14 人
東	四谷 四谷保健センター 多目的室	・事業説明・ボランティアによるフラストレッチ	11 人
	簗笥町 簗笥町区民ホール	・事業説明・ボランティアによる音楽セラピー	17 人
	榎町 早稲田南町地域 交流館 大広間	・事業説明・ボランティアによる一芸披露 (日本舞踊、雅楽)	9 人
中央	若松町 戸山生涯学習館 ホール	・事業説明・ボランティアによる一芸披露 (大道芸実演) ・警察による特殊詐欺についての講話	8 人
	大久保 社会福祉協議会	・事業説明・ボランティアによる自分史ノート作成体験会	6 人
	戸塚 社会福祉協議会	・事業説明・新宿リサイクル活動センター職員による 工作体験	4 人
西	落合第一 落合第一地域 センター3階 第一集会室AB	・事業説明・落合保健センター保健師によるフレイル 予防体操教室	9 人
	落合第二 落合第二高齢者 総合相談センター 会議室	・事業説明、ボランティアによるオンライン教室、 社協職員による脳トレ・簡単体操	6 人
	柏木 北新宿第二地域交 流館 (WEB併用)	・事業説明、管理栄養士による講話	13 人
	角筈 BIZ新宿	・事業説明、意見交換 (角筈地区見守り支えあい連絡会合同開催)	4 人 (16人)
全体会	動画配信	・講話:「地域医療から考える高齢者の生活や現在の 状況における変化」 ・講師:牛込台さこむら内科 迫村 泰成氏	視聴回数 219 回
	四谷保健センター 多目的室		2 人
	社会福祉協議会		1 人

(4) 関係機関・協力機関との連携

高齢者総合相談センター等関係機関との連携のため、各地区の「高齢者見守り支えあい連絡会」に出席した。

連携機関名	実施日	内 容
角筈高齢者総合相談センター	10月27日	・生活支援体制整備事業について ・地域見守り協力員事業説明、情報紙訪問配布事業説明 ・意見交換(参加者各々の見守り活動報告)
大久保高齢者総合相談センター	12月16日	・社協見守り事業の説明 ・意見交換(「新しい生活様式の中での見守りとのつながり」について)

※ 高齢者総合相談センター等関係機関との連携のため、毎年行っているが、社会状況を鑑み、上半期は開催せずに資料配布のみを行う等の地区があった。また、下半期でも書面開催の地区もあった。

3 ファミリーサポート事業(区委託事業)

(1) 会員数

	通常預かり		うち病児・病後児預かり	
	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
利 用 会 員	2,688 人	3,259 人	1,281 人	1,603 人
提 供 会 員	356 人	360 人	239 人	233 人
両 方 会 員	9 人	8 人	3 人	3 人
合 計	3,053 人	3,627 人	1,523 人	1,839 人

新型コロナウイルス感染症拡大前に登録し、感染症拡大により利用に繋がらなかった会員が多いた中で、未利用会員への登録継続確認を行ったところ、退会者が大幅に増えた。また、昨年に引き続き、登録説明会の規模を縮小して行ったため、例年より入会人数が少ない。

(2) 相談・問合せ件数

依 頼 者 及 び 依 頼 内 容 等		件 数	
		令和3年度	令和2年度
利用会員	新規依頼(病児・病後児預かり依頼除く)	254 件	214 件
	病児・病後児預かりコーディネート	34 件	23 件
	その他	649 件	347 件
提供会員		271 件	246 件
未登録者(新規登録について・他団体からの問合せ等)		1,034 件	777 件
合 計		2,242 件	1,607 件

(3) 活動実績

活 動 の 範 囲		活動件数(件)		活動時間数(時間:h)	
		令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
1	保育園・幼稚園の送り	2,149	1,986	2,259.0	2,214.0
2	保育園・幼稚園の迎え	966	1,291	1,035.0	1,433.0
3	保育園・幼稚園の登園前の預かり及び送り	312	237	659.0	409.5
4	保育園・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	1,641	1,430	3,444.0	3,057.0
5	保育園・幼稚園の帰宅後の預かり	490	269	1,245.0	606.0
6	放課後の預かり	474	434	979.5	1,015.0
7	学校から学童クラブへの送り	34	11	66.0	24.0
8	学校の迎え及び帰宅後の預かり	31	33	92.0	89.5
9	学童クラブの迎え	216	57	248.5	97.5
10	学童クラブの迎え及び帰宅後の預かり	176	172	416.0	381.0
11	学童クラブの帰宅後の預かり	9	55	20.0	141.5
12	学校の送り	316	369	329.0	387.5
13	学校の迎え	119	17	127.0	28.5
14	子どもの病気時の援助	32	7	112.5	25.0
15	保育園・学校等休み時の援助	1,117	1,376	4,196.0	5,084.0
16	保育園等施設入所前の援助	0	0	0.0	0.0
17	子どもの習い事・塾等の送迎	1,948	1,580	3,575.5	2,584.5
18	保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	169	540	564.5	1,897.0
19	保護者等の求職活動中の援助	0	0	0.0	0.0
20	冠婚葬祭による外出、他の子どもの学校行事の場合の援助	13	35	43.0	73.0
21	保護者等の買物等外出の場合の援助	572	679	1,644.5	1,979.5
22	保護者等の病気時の援助	11	15	34.0	48.0
23	その他	178	71	240.0	111.5
合 計		10,973	10,664	21,330.0	21,686.5

(4)利用会員登録説明会の開催

登 録		定期	窓口	訪問	子ども 家庭支援 センター	地域子育て 支援セ ンター ふたば	四谷 保健 センター	土曜日	ゆったり りの	合 計
新 規	令和3年度	236 人	55 人	7 人	30 人	－ 人	7 人	154 人	6 人	495 人
	令和2年度	181 人	31 人	3 人	18 人	7 人	－ 人	106 人	4 人	350 人
病児・ 病後児	令和3年度	116 人	2 人	0 人	15 人	－ 人	2 人	104 人	1 人	240 人
	令和2年度	88 人	8 人	0 人	13 人	3 人	－ 人	57 人	4 人	173 人

地域子育て支援センターふたばと四谷保健センターでの開催は、隔年で実施する。

(5)提供会員講習会の開催

	申込者数		参加者数		修了者数	
	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度	令和3年度	令和2年度
合 計	45 人	33 人	41 人	31 人	29 人	22 人

(参加者数・修了者数は補講者を含む)

(6)会員向け情報紙「えがお」の発行(年2回)

第60・61号 (6月29日発行) (12月20日発行)	発行部数	5,000 部 (令和3年度発行部数:5,000部)	
	仕 様	A4判 4頁	
	配 布 先	利用会員、提供会員、福祉関係機関等	

5 さまざまな団体との連携による地域ネットワークの発展

1 地域団体との連携(重点事業)

(1)社会福祉法人としての公益的な取り組みの推進

新宿区内社会福祉法人連絡会の開催

改正社会福祉法に基づき、「地域における公益的な取組を実施する責務」などに関し、区内社会福祉法人によるネットワークづくりをすすめ、法人間の連携と協働による公益的な取組をすすめることを目的としている。
令和3年度は44法人等が会員となり、新型コロナウイルス感染症拡大による様々な制限の中、オンライン会議ツールを活用した連絡会・オンラインサロンの開催や、食の支援が必要な子育て世帯向け食品配付会の実施、その他各種地域公益活動関連会議への出席等、会員間の情報交換・共有を図るとともに、社会福祉法人・民生児童委員・社会福祉協議会の三者連携やCSR活動企業との連携・協働へ向けた関係づくりをすすめた。

	実施日	方法	内 容	参加者数
幹事会	6月7日	WEB	・令和2年度事業報告 ・議決事項(令和2年度決算、令和3年度事業計画および事業予算)の確認	7 団体 7 人
	9月6日	WEB	・食品配付会報告 ・オンラインサロン及び第2回定例会実施内容の検討	5 団体 5 人
	1月26日	WEB	・第2回食品配付会報告 ・第2回オンラインサロン及び第3回定例会実施内容の検討	7 団体 7 人
定例会	7月2日	WEB	【議決事項】 ・令和2年度決算、令和3年度事業計画及び収支予算 【報告事項および意見交換】 ・令和2年度事業報告 ・新人研修(オンラインサロン)等実施内容の検討 ・コロナ禍における各種対応について情報交換	14 団体 14 人
	11月16日	WEB	・第1回食品配付会報告と第2回の協力依頼(グループ懇談) ・コロナ禍における各法人等の課題や新たに生まれた地域のニーズ、取り組んでいる地域公益活動について、グループごとの意見交換	16 団体 17 人
	3月11日	WEB	・令和3年度の実績報告 ・令和4年の取組みについて協議(グループ懇談) ・各法人に日々寄せられる相談について ・様々な相談に対応するために求められるスキルや人材育成とは	11 団体 11 人

	実施日	内 容	参加者数
オンラインサロン	10月26日	第1回目は入職後3年以内の新任職員を対象とし、会員同士がお互いに知り合うきっかけを提供し、気軽に相談しあえる関係づくりの構築を目的とした交流会を実施した。	12 団体 24 人
	1月26日	第2回目は入職後4年目から10年目以内の中堅職員を対象に、やりがいや悩み、職場の課題等を他業種の職員と共有し、日ごろの業務に活かすことを目的に交流会を実施した。	6 団体 24 人

その他

・1月25日

東京都地域公益活動推進協議会 地域ネットワーク推進委員会「区市町村ネットワーク代表者連絡会」の事例報告(第1回、2回実施した食品配付会についての報告を行った。)

・メーリングリストを活用し、団体間の交流と情報交換を随時行なった。

(2) 民生委員・児童委員協議会との連携

①各地区民生委員・児童委員協議会との懇談会の開催

社協発足に深いかかわりをもち、今日まで新宿区の地域福祉の向上に携わってきた民生委員・児童委員と社協職員との相互理解を一層深め、さらなる連携・協働をすすめていくため毎月定例会に職員が出席するとともに、希望があった各地区民生委員・児童委員協議会と懇談会を開催している。

地 区	実施日	場 所	内 容
若松町	6月15日	戸山シニア活動館	「コロナ禍における見守り支えあいの地域づくり」について
角筈	10月25日	BIZ新宿	「成年後見制度」について
落合第一	3月24日	落合第一地域センター	災害時における社協の役割について
榎町	(2月16日)※	榎町地域センター	「災害時の対応及び災害時のボランティア活動」について
簗笥町	(2月24日)※	牛込簗笥地域センター	「成年後見制度(法定・任意)の利用～事例別～」について
戸塚	(9月16日)※	新宿清掃事務所	社会福祉協議会について
落合第二	(3月22日)※	角筈地域センター	(仮)成年後見制度について

※新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止

②公私立保育園児への絵本の贈呈事業の支援

民生委員・児童委員協議会が行う公私立保育園・子ども園への絵本の贈呈事業に協力を行っている。

	令和3年度	令和2年度
保育園・子ども園	81 園 382,277 円	81 園 380,902 円

(3) 町会・自治会等地域団体との連携

各地区町会連合会への社協事業説明等の実施

開催月	説 明 内 容
4月	①令和3(2021)年度 新宿社協ガイドの配布について ②令和3年度町連での新宿社協からの事業説明について ③令和3年度新宿区社会福祉協議会 会費のご協力をお願い
5月	①令和3(2021)年度 新宿区ファミリー・サポート・センター提供会員講習会のご案内及びポスター掲示をお願い ②令和3年度地域見守り協力員事業情報交換会の周知について
6月	①新宿区成年後見センターについて
7月	①第4次経営計画中間の見直しと今後の町会自治会との連携について ②令和3年度共同募金運動の実施について ③新宿区社会福祉協議会による食品配付会(フードパントリー)の実施に伴うご協力のお願いについて

9月	①令和3年度赤い羽根共同募金運動への協力依頼 ②食品配付会(フードパントリー)の実施報告について ③災害ボランティアセンターについて
10月	①福祉教育について ②生活支援体制整備事業 普及啓発シンポジウムのご案内について ③災害時のための市民協働 東京憲章について
11月	①令和3年度歳末・地域たすけあい運動募金の協力依頼について ②第2回新宿区社会福祉協議会による食品配付会(フードパントリー)の実施に伴う協力依頼について ③令和3年度受験生チャレンジ支援貸付事業の周知依頼について ④「新宿社協公式LINE」の開始について
12月	①成年後見制度について(成年後見センターだより配布)
2月	①社会福祉法人新宿区社会福祉協議会 各種委員の推薦について ②地域見守り協力員事業について (パンフレット配布)
3月	①令和3年度赤い羽根共同募金及び歳末・地域たすけあい募金運動実施に伴うご協力のお礼と報告について ②令和4年度新宿区社会福祉協議会地域ささえあい活動助成金のご案内 ③「第2回食品配付会～子育て応援！フードパントリー～実施報告」について

8月、1月は非開催

2月は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、一部の地区のみ実施

(4) 出前講座の実施

	団体名	開催日	会 場	内 容	参加者数
1	新宿区手をつなぐ親の会 すけっ人らいん	5月26日	障害者福祉センター	地域福祉権利擁護事業について	10 人
2	戸山みのり会	7月28日	戸山生涯学習館	新宿区社会福祉協議会について 地域見守り協力員事業について	30 人
3	榎町地区民生委員・児童委員協議会(生活福祉部会)	11月19日	榎町地域センター 3階工芸美術室	複合的な課題を抱える方への相談支援事業について	6 人
4	東京医科大学医学部看護学科	12月8日	東京医科大学 ※	だれもが安心して暮らせる新宿型福祉コミュニティを目指して～新宿区社会福祉協議会とは～	91 人
5	柏木高齢者総合相談センター	12月16日	柏木地域センター	地域福祉権利擁護事業について 成年後見センターについて	10 人

※4はZoom参加

上記以外に、各地区民生委員・児童委員協議会との懇談会を出前講座として実施

(5) NPO・新宿CSRネットワーク等との市民活動の支援

①NPO等市民活動団体との協働支援

例年、8月に京王プラザホテルボランティア・プラザに参加協力し、区内福祉施設や市民活動グループが活動紹介をしていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度に引き続き中止となった。

②新宿CSRネットワークの活動支援

	令和3年度	令和2年度
加盟企業	14 社	17 社
定例会	開 催 4 回(四半期に1度の開催) 内 容 オンラインで定例会を実施。社会貢献活動に関する情報交換および各企画の検討	
支援事業	新宿養護学校との交流会 ・生徒に加盟企業の紹介をし、企業への質問を受けるなど交流会を実施し、企業の参加者が障害理解を深めるきっかけとなった。 ※例年参加の清掃活動(5月、12月)、京王プラザホテル ボランティア・プラザ(8月)の参加協力、同日開催の打ち水大作戦は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止。	

③福祉団体・施設等が行う行事等への支援

	令和3年度	令和2年度
行事等の後援・協力	15 件	12 件
行事等の共催	1 件	0 件
民間助成団体への推薦	17 件	9 件

(6)食品配付会～子育て応援！フードパントリー～の実施

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、区内在住で食の支援が必要な子育て世帯(先着100世帯)へ食品を配付すると同時に、世帯の状況に応じた相談支援を実施した。

第1回

実施日	場 所	配 付 食 品	参加者
8月14日	社会福祉協議会	米2kg、砂糖1kg、区内福祉作業所作製のクッキー等、 インスタント味噌汁、即席ラーメン など	47 世帯
8月15日			41 世帯
後日配付			11 世帯
			合計 99 世帯

共 催	新宿区内社会福祉法人連絡会
協 力	新宿区民生委員・児童委員協議会、新宿区町会連合会、新宿CSRネットワーク
協 賛	新宿5ロータリークラブ(東京西北RC、東京新宿RC、東京四谷RC、東京新都心RC、東京ワセダRC)、カンロ株式会社

多くの個人・団体から寄附金及び食品の寄附を受領した。

第2回

実施日	場 所	配 付 食 品	参加者
12月18日	社会福祉協議会	米2kg、区内福祉作業所作製のクッキー、ポップコーン、インスタント味噌汁、即席ラーメン、防災備蓄食など	57 世帯
12月19日			56 世帯
後日配付			8 世帯
合 計			121 世帯

共 催	新宿区内社会福祉法人連絡会
協 力	新宿区民生委員・児童委員協議会、新宿区町会連合会、新宿CSRネットワーク
協 賛	新宿5ロータリークラブ(東京西北RC、東京新宿RC、東京四谷RC、東京新都心RC、東京ワセダRC)、東京三協信用金庫、新宿区保護司会四谷分区、但馬屋珈琲店

多くの個人・団体から寄附金及び食品の寄附を受領した。

2 生活支援体制整備事業（区委託事業）

7 ページに記載

6 新宿社協の活動の理解促進のための広報・広聴機能の強化

1 総合的な広報事業（重点事業）

(1)ボランティア情報の発信

①地区情報紙の発行

平成31年4月から、ボランティア・市民活動情報紙「しずく」と各地区の地域情報を発信する「地区情報紙」を統合し、新たな「地区情報紙」として発行を開始した。また、ボランティア募集情報は、ホームページに掲載し、ボランティアに関する様々な情報を発信している。

発行月	掲載内容	発行部数
4月	笹笹・角笹地区の取り組み	各回2,500部
5月	四谷・落合第二地区の取り組み	
6月	【事業紹介】いつでも体験ボランティア	
7月	若松町・柏木地区の取り組み	
8月	大久保・落合第一地区の取り組み	
9月	榎町・落合第二地区の取り組み	
10月	戸塚・角笹地区の取り組み	
11月	笹笹・若松町地区の取り組み	
12月	四谷・落合第一地区の取り組み	
1月	大久保・榎町地区の取り組み	
2月	戸塚・柏木地区の取り組み	
3月	令和3年度社協事業の取り組み、ボランティア保険の案内等	

配 布 先	ボランティア活動登録者、施設・団体、NPO、企業及び各種関係機関
掲 載 先	社協ホームページ、SNS (Facebook、Twitter)

②ホームページへの掲載

内 容	令和3年度	令和2年度
地区情報・事業周知等の記事掲載	179 回	124 回

※うち「ボランティアコーナーのコーナー」掲載数:27回

(2) 広報「けやき」等の発行

広報全体のテーマを、「知ってほしい」「参加してほしい」「親近感親しみを持ってほしい」とし、そのゴールを社協の支援者・賛同者(ファン)を増やす、そして「離さない」とした広報活動を行っている。

①広報紙「けやき」の発行(年4回)

令和3年度は、特集は子育て中、働き世代、学生などの活動者、連載は区内公園での地域活動を掲載した。

第172号 (5月20日発行)	発行部数	91,000 部	
	仕 様	タブロイド判 4頁	
	配布方法	新聞折込み(朝日・読売・毎日・日経・産経・東京)	86,000 部
		関係機関等窓口での配布ほか	5,000 部
	主な内容	(特集)親子で参加できるボランティア活動、公園で行っている地域活動「プレイパーク」、会費会員募集(払込取扱票)、講座年間予定、令和3年度事業計画・事業予算、その他お知らせ	
第173号 (8月20日発行)	発行部数	91,000 部	
	仕 様	タブロイド判 4頁	
	配布方法	新聞折込み(朝日・読売・毎日・日経・産経・東京)	86,000 部
		関係機関等窓口での配布ほか	5,000 部
	主な内容	(特集)学生が行うボランティア活動、公園で行っている地域活動「ふれあい・いきいきサロン」、市民後見人養成基礎講習、生活支援体制整備普及啓発イベント、令和2年度事業報告・事業予算、その他お知らせ	
第174号 (11月20日発行)	発行部数	89,000 部	
	仕 様	タブロイド判 4頁	
	配布方法	新聞折込み(朝日・読売・毎日・日経・産経・東京)	82,000 部
		関係機関等窓口での配布ほか	7,000 部
	主な内容	(特集)仕事・子育てなどの日常の合間に活動しているボランティアの紹介、公園で行っている地域活動「公園サポーター」、福祉教育・福祉体験学習、受験生チャレンジ貸付事業、その他講座などお知らせ	
第175号 (2月20日発行)	発行部数	89,000 部	
	仕 様	タブロイド判 4頁	
	配布方法	新聞折込み(朝日・読売・毎日・日経・産経・東京)	82,000 部
		関係機関等窓口での配布ほか	7,000 部
	主な内容	(特集)趣味や特技を活かしたボランティア活動の紹介、公園で行っている地域活動「高齢者クラブ」、成年後見センターからのお知らせ、生活福祉資金貸付事業、共同募金報告、食品配布会報告、その他講座などお知らせ	

②事業案内パンフレット「新宿社協ガイド」の発行

発行部数	10,000 部
仕 様	A4判 12 頁
配布方法	民生委員・児童委員協議会、町会・自治会、関係機関・団体など

(3)ホームページ、SNSの活用

①新着情報等の更新回数及び閲覧件数

		令和3年度	令和2年度
新着情報等 更新回数	ホームページ	229 回	240 回
	SNS※	Facebook	195 回
		Twitter	186 回
閲覧件数	ホームページ	275,293 件	376,821 件
	SNS※	Facebook	16,320 件
		Twitter	11,466 件

※SNSは、Twitterの運用を
令和3年4月より開始。

②ホームページ バナー広告の掲載

ホームページ上に企業・団体等の広告を掲載し、その掲載手数料を当会の地域福祉活動に活用する。
(令和2年度より開始)

	掲載件数	掲載団体等
令和3年度	2 件	高齢者住宅相談窓口、福祉系専門学校
令和2年度	0 件	-

2 広聴事業(重点事業)

(1)情報公開・個人情報保護審査会

①情報公開・個人情報保護審査会委員連絡会の開催

※審査会に至る案件が無い場合、審査会委員との会合を年1回実施し、情報共有を行っている。

第1回 令和3年8月26日

- 議題
- ・情報公開・個人情報保護制度と審査会の役割について
 - ・保有個人情報の開示等の請求・協議会文書の公開請求事案について
 - ・情報公開対応手順書・個人情報保護手順書について

(2)第三者委員会

①第三者委員による会議の開催

第1回 令和3年8月26日

- 議題
- ・新宿区社会福祉協議会の苦情解決体制と第三者委員の役割
 - ・事例の紹介

7 地域福祉推進のための財源基盤の拡充

1 会費会員の拡充(重点事業)

	令和3年度		令和2年度	
	件数	金額	件数	金額
個人会員	1,754 件	2,803,700 円	1,642 件	2,600,000 円
団体会員	430 件	2,246,000 円	424 件	2,181,000 円
合計	2,184 件	5,049,700 円	2,066 件	4,781,000 円

民生委員・児童委員への会費集金依頼を7月に行い、会員宅への訪問を中心に納付を依頼した。
また、事務局扱いの会員への会費納付の依頼について、昨年度同様、上半期に実施した。

2 共同募金の普及・啓発(募金文化の醸成)(重点事業)

(1)共同募金会新宿地区協会の理事会

第1回理事会 令和3年8月12日 書面決議

報告事項 報告事項1 令和2年度共同募金地域福祉活動費(令和元年度募金分)の使途報告について(歳末・地域たすけあい募金)

報告事項2 1 令和3年度地域ささえあい活動助成事業の実績について
2 令和3年度ふれあい・いきいきサロン新型コロナウイルス感染症対応のための活動助成の実績について

報告事項3 赤い羽根共同募金 A配分(全都配分)整備費・特別事業費への団体推薦結果について

議決事項 議案第1号 令和3年度共同募金会新宿地区協会の共同募金(赤い羽根共同募金及び歳末・地域たすけあい募金)実施要綱の決定について

議案第2号 令和3年度共同募金会新宿地区協会の共同募金(歳末・地域たすけあい運動募金)援護費予算の執行について

第2回理事会	令和4年1月28日	出席者数	理事 13 人	監事 2 人
報告事項	報告事項1	令和3年度赤い羽根共同募金運動及び歳末・地域たすけあい運動募金の実績報告について		
	報告事項2	令和3年度地域ささえあい活動助成事業の実績報告について		
	報告事項3	令和3年度援護費予算の流用及び令和3年度衛生対策等地域活性緊急特別配分について		
	報告事項4	赤い羽根共同募金A配分(全都配分)整備費・特別事業費への団体推薦結果について		
議決事項	議案第3号	令和3年度東京都共同募金会赤い羽根共同募金地域配分(B配分)の推せんについて		
	議案第4号	令和3年度地域福祉活動事業の再配分について		
	議案第5号	令和4年度赤い羽根共同募金運動及び歳末・地域たすけあい運動募金の収支計画について		
	議案第6号	令和4年度地域福祉活動事業の配分計画について		

(2) 赤い羽根共同募金

募金は、福祉施設の改修や設備整備のほか、在宅の高齢者、障害者の支援など地域福祉の推進に役立てられる。募金額の約65%が地域ささえあい活動助成金として地域に配分され、他は都内の福祉施設や被災地支援に活用される。また、令和3年度は地域の居場所の感染予防のための助成事業としても活用した。

- ・募金期間 令和3年10月1日～12月31日
- ・募金方法 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、町会・自治会を通じての募金依頼の際に振込対応を行ったほか、募金箱を新宿区福祉部地域福祉課を始め各課及び特別出張所窓口、社会福祉協議会等に設置した。なお、街頭募金はすべて中止した。

・募金総額

令和3年度	令和2年度
3,020,315 円	3,114,670 円

・街頭募金

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、実施なし

(3) 歳末・地域たすけあい運動募金

募金は、歳末・新年を迎える区内の在宅重度障害児者、女性保護施設入所者や乳児院児童などに見舞金品として贈呈した。また、令和3年度は、施設退所後、さまざまな支援制度の活用ができなくなる児童養護施設、母子生活支援施設を退所後間もない世帯を援護費活用の新たな支援対象とし、見舞金品を渡した。

- ・募金期間 令和3年12月1日～12月31日
- ・募金方法 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、引き続き町会・自治会を通じての募金依頼の際に振込対応を行ったほか、社会福祉協議会の事業を通じてつながった施設・団体に募金箱の設置を依頼し、募金箱設置を前年比で12件増やし、募金額の増を生じた。
なお、街頭募金は、1町会が感染予防対策をとったうえで自主的に実施した。

・募金総額及び内訳

	収支項目	金 額	
		令和3年度	令和2年度
収入	募金額	7,827,381 円	7,856,398 円
	預金利子	11 円	0 円
	前年度繰越金	0 円	10 円
	収入合計	7,827,392 円	7,856,408 円
支出	援護費	4,214,316 円	3,567,714 円
	見舞金	4,030,000 円	3,370,000 円
	交通遺児	0 円	0 円
	自死遺児	0 円	0 円
	在宅重度障害児者	3,650,000 円	3,250,000 円
	女性保護施設入所者	180,000 円	120,000 円
	母子生活支援施設退所者	150,000 円	—
	児童養護施設退所者	50,000 円	—
	見舞品	184,316 円	197,714 円
	乳児院児童	184,316 円	197,714 円
	事務費	475,713 円	487,044 円
	地域福祉活動費	3,137,363 円	3,801,650 円
	支出合計	7,827,392 円	7,856,408 円

・街頭募金

	実 施 日	場 所	参 加 者	募 金 額
下落合東町会による 街頭募金	12月18～21日 各日2回	ピーコックストア 目白店前歩道	町会役員 延30人	98,698 円

・その他募金

	実 施 日	場 所	参 加 者	募 金 額
四谷佛教会による 募金	12月7日	新宿区役所	四谷佛教会僧侶	328,303 円

例年実施している托鉢募金は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、中止となった。

3 寄附の募集（重点事業）

(1) 寄附金

	令和3年度		令和2年度	
	件 数	金 額	件 数	金 額
一般寄附金	337 件	4,645,478 円	303 件	3,682,816 円
指定寄附金	34 件	5,673,625 円	13 件	6,094,000 円
施設整備等寄附金	0 件	0 円	1 件	91,000 円
合 計	※ 370 件	10,319,103 円	317 件	9,867,816 円

※一般寄附金と指定寄附金の重複1件あり

けやき5月号に掲載した払込票により、21件・162,000円の寄附が寄せられた。

2回実施した食品配付会への指定寄附が増加したことにより、件数が大きく伸びた。

(2) 寄附物品の受領・譲渡

	令和3年度	令和2年度
物品受領件数	187 件	128 件
地域団体・施設等への譲渡件数	235 件	196 件

※ 主におむつやタオルなど未使用の物品を受領・譲渡しているほか、令和3年度は保存の効く食品も受領・譲渡した。

食品配付会に伴い多くの食品の寄附をいただいたこと、それら適量に仕分けし直して、食料支援を行っている団体に譲渡したことから、前年に比べて、受領件数、譲渡件数ともに大きく伸びた。

4 収益事業（自販機の設置等）（重点事業）

飲料自動販売機を設置し、売り上げの一部を赤い羽根共同募金へ募金し、残りを地域福祉事業に活用する。設置先の拡充のため、各関係機関、民間事業所などへの周知を行っている。

- ・設置場所 社協高田馬場事務所 1台、東分室 2台、新宿中央公園 1台、正覚寺(四谷地区)1台、新宿清掃事務所 1台、ソナーレ目白御留山(有料老人ホーム、落合第一地区)1台、牛込保健センター(仮施設)1台

・手数料収入額

令和3年度	令和2年度
498,310 円 / 8 台	439,104 円 / 7 台

8 新宿社協の組織運営と組織基盤の整備

1 新宿社協の組織運営

(1) 理事会・評議員会・推進部会の運営

① 役員会

(ア) 会長・副会長会

計3回(5月17日、11月29日、2月28日)の開催

理事会・評議員会開催前に実施し、予定議案について協議を行った。

(イ) 監事監査

第1回 令和3年5月14日

令和2年度に係る事業報告等、計算関係書類及び財産目録についての監査

第2回 令和3年11月12日

令和3年度上半期事業報告及び各事業及び各拠点区分資金収支決算、貸借対照表等についての監査

(ウ)理事会

第1回 令和3年5月24日 出席者数 理事 17 人 (来所7人、WEB 10人)
監事 3 人 (来所1人、WEB 2人)
決議事項 議案第 1 号 令和2年度事業報告及び決算報告の承認について
議案第 2 号 役員等賠償責任保険契約について
議案第 3 号 令和3年度地域福祉推進事業資金収支補正予算(補正第1号)
議案第 4 号 理事及び監事選任候補者の推薦について
議案第 5 号 評議員選任候補者の推薦について
議案第 6 号 令和3年度第1回評議員会の招集について

第2回 令和3年6月8日 出席者数 理事 16 人 (来所6人、WEB 10人)
監事 3 人 (来所1人、WEB 2人)
決議事項 議案第 7 号 会長、副会長及び常務理事の選定について
議案第 8 号 評議員候補者の推薦について

第3回 令和3年12月8日 出席者数 理事 16 人 (来所 8人 WEB 8人)
監事 3 人 (来所 1人 WEB 2人)
決議事項 議案第 9 号 令和3年度地域福祉推進事業資金収支補正予算(補正第2号)
議案第10号 評議員選任候補者の推薦について
議案第11号 令和3年度第2回評議員会の招集について

第4回 令和4年1月25日
書面同意となり、理事の全員18名の同意書及び、監事の全員3名の確認書により、理事会の決議があったものとみなされた。

決議事項 議案第12号 社会福祉法人新宿区社会福祉協議会 総合管理業務委託入札の実施について

第5回 令和4年3月16日 出席者数 理事 16 人 (来所 7人 WEB 9人)
監事 2 人 (来所 1人 WEB 1人)
決議事項 議案第13号 令和3年度地域福祉推進事業資金収支補正予算(補正第3号)
議案第14号 令和4年度事業計画及び資金収支予算について
議案第15号 高田馬場事務所総合管理業務委託契約について
議案第16号 社会福祉法人新宿区社会福祉協議会職員就業規程の一部改正について
議案第17号 社会福祉法人新宿区社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について
議案第18号 社会福祉法人新宿区社会福祉協議会非常勤職員規程等の一部改正について
議案第19号 理事の推薦について
議案第20号 令和3年度第3回評議員会の招集について

②評議員会

第1回 令和3年6月8日 出席者数 評議員 19 人 (来所10人、WEB 9人)
常務理事 1 人 (来所1人)
決議事項 議案第 1 号 令和2年度事業報告及び決算報告の承認について
議案第 2 号 令和3年度地域福祉推進事業資金収支補正予算(補正第1号)
議案第 3 号 理事及び監事の選任について

第2回 令和3年12月22日 出席者数 評議員 19 人 (来所10人 WEB 9人)
常務理事 1 人 (来所 1人)
監事 1 人 (WEB 1人)
決議事項 議案第4号 令和3年度地域福祉推進事業資金収支補正予算(補正第2号)

第3回 令和4年3月24日 出席者数 評議員 14 人 (来所 4人 WEB 10人)
常務理事 1 人 (来所 1人)
決議事項 議案第 5 号 令和3年度地域福祉推進事業資金収支補正予算(補正第3号)
議案第 6 号 令和4年度事業計画及び資金収支予算について
議案第 7 号 理事の選任について

③評議員選任委員会

第1回 令和3年6月2日 出席者数 委員 5人 常務理事 1人
決議事項 議案第1号 評議員選任委員会委員長の選出について
議案第2号 評議員の選任について

第2回 令和3年7月8日 出席者数 委員 5人 常務理事 1人
決議事項 議案第3号 評議員の選任について

第3回 令和3年12月14日 出席者数 委員 5人 常務理事 1人
決議事項 議案第4号 評議員の選任について

④推進部会の運営

各地区社協部会代表者9人、専門分野や広域活動者、企業、行政、学識者等9人の計18人の委員により構成されている。

第1回 令和3年6月4日 出席者数 15人 ※WEB開催
内容 ・新任委員自己紹介
・令和2年度事業評価(報告／グループワークによる意見交換)

第2回 令和3年11月5日 出席者数 14人 ※WEB開催
内容 ・中間の見直しを踏まえた施策の現段階と今後の取り組みについて(施策3)
(グループワークによる意見交換)

第3回 令和4年3月7日 出席者数 17人 ※WEB開催
内容 ・中間の見直しを踏まえた施策の現段階と今後の取り組みについて(施策5、6、7)
(グループワークによる意見交換)
・現任期2年間の振り返り

(2)社協部会の運営

民生委員・児童委員協議会、町会・自治会関係者、高齢者総合相談センター、学校関係者(スクールコーディネーター)、地域活動者、地域福祉関係NPO、施設・団体等から選出の委員84名で、特別出張所地区毎9地区で社協部会を運営した。(各地区委員は9人、柏木・角筈地区は合同のため委員12人)

令和2・3年度の検討テーマは「支援の隙間に埋もれるニーズに気づき、つなげる地域になるには」で、各地区の社協部会で検討をすすめた。

【第1回】(WEB併用)

地 区	実 施 日			参加者数
東	四谷 5月 14日	簗笥町 5月 28日	榎町 5月 25日	24人
中央	若松町 5月 19日	大久保 5月 7日	戸塚 5月 28日	25人
西	落合 第一 5月 24日	落合 第二 5月 27日	柏木・角筈 5月 18日	28人

【第2回】(WEB併用)

地 区	実 施 日			参加者数
東	四谷 8月 30日	簗笥町 8月 18日	榎町 8月 25日	24人
中央	若松町 8月 16日	大久保 8月 26日	戸塚 8月 20日	23人
西	落合 第一 8月 23日	落合 第二 8月 29日	柏木・角筈 8月 17日	26人

【第3回】

地 区	実 施 日			参加者数
東	四谷 11月2日	簗笥町 11月16日	榎町 11月16日	25人
中央	若松町 11月8日	大久保 12月2日	戸塚 11月12日	24人
西	落合 第一 11月24日	落合 第二 11月9日	柏木・角筈 11月30日	29人

【第4回】

令和2・3年度社協部会全体会(実施日 2月7日・WEB併用)

地 区	内 容	参加者数
東	各地区社協部会からの提言及び令和4年度以降の新宿社協の取り組みについての報告。 グループ毎の情報交換会を実施。	25 人
中央		23 人
西		29 人

2 職員の育成

(1)職員等の資質向上に向けての研修の実施

(回数、人数は延数)

①職層別研修(外部研修)

	令和3年度			令和2年度		
	参加者数			参加者数		
中堅職員研修(職歴2年以上)	6 回	27 人		1 回	10 人	
新任職員研修	5 回	18 人		2 回	4 人	
その他(役職員研究協議会ほか)	1 回	6 人		1 回	5 人	

②専門・業務研修(外部研修)

	令和3年度			令和2年度		
	参加者数			参加者数		
地域活動支援	7 回	10 人		17 回	26 人	
成年後見・地域福祉権利擁護	13 回	32 人		13 回	18 人	
自立相談支援・貸付	8 回	14 人		0 回	0 人	
ファミリーサポート	7 回	13 人		3 回	5 人	
法人経営	12 回	28 人		4 回	6 人	
精神保健福祉	18 回	51 人		0 回	0 人	
その他(救命*、認知症サポーター養成等)	5 回	22 人		4 回	19 人	

*内部研修含む

③内部研修

	令和3年度			令和2年度		
	参加者数			参加者数		
新任研修	8 回	47 人		3 回	14 人	
昇任時研修	1 回	7 人		0 回	0 人	
集合研修	8 回	293 人		5 回	188 人	
地域活動支援課研修	0 回	0 人		0 回	0 人	
成年後見センター研修	0 回	0 人		1 回	9 人	

上記の内部研修のほか、昇任選考対象者の研修を随時実施している。

④資格取得支援

	令和3年度		令和2年度	
	受験者数	資格取得者数	受験者数	資格取得者数
衛生管理者	0人	0人	1人	1人
ITパスポート	3人	3人	3人	3人

(2)「社会福祉士」の国家試験受験資格取得のための現場実習生受入れ

・社会福祉実習 1 人 12 日間

3 IT推進・情報管理

(1)IT運用・管理及び情報セキュリティ

①組織内IT推進体制を整備し、適正な管理運用を行った。

- ・IT推進会議(各課IT担当)によるシステム・インフラ等の運用・管理・利用サポート・各種調整等
- ・ITコンサルタント及びインフラ委託業者の助言による、情報セキュリティ対策
- ・遠隔地でのデータバックアップの実施(月1回)
- ・管理及び情報セキュリティの運用等強化(ITパスポート有資格者:11人)

- ②ITコンサルタントの支援により、安全な運用及びIT人材の育成を行った。
- ・コンサルタント委託先:株式会社ループス・ネット
 - ・指導(来所1回、WEB6回)、IT担当者の管理運用及びその他相談への助言・情報提供(随時)
 - ・職員のITリテラシー及びセキュリティ意識向上への支援(新任研修:4回/IT担当:1回/eラーニング:2回)
 - ・機器やシステムの管理・運用・導入、情報セキュリティ強化等への助言
- ③災害等への対応・検討を行った。
- ・遠隔地でのデータバックアップの実施(月1回)
- ④ オンライン会議実施に向けての環境強化
- ・通信負荷軽減のためのモバイルルーターの導入及び機器の設定や使用方法の見直し

(2)IT機器・ネットワークの活用

ITシステム・組織内イントラネット・ネットワークの活用により、情報管理・共有及び事務効率化を図った。

【システム】会員総合情報システム、ファイルサーバ、グループウェア、財務・給与・人事管理 他

【インフラ】クライアントPC76台、財務等PC2台、サーバー 他

【その他】ウィルス対策ソフト、データバックアップソフト 他

4 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、以下の対策を行った。

(1) 事務室及び会議室の感染防止対策

扇風機、サーキュレーターの使用と窓の開放を行う等、換気を徹底した。来所者・職員共に入室時の検温及び不織布マスクの着用を呼びかけ、徹底した。飛沫防止アクリル板、机、手すり等の消毒を毎日定期的に実施した。

会議・講座は、WEB活用と共に、感染拡大時においては、可能なものは書面開催とした。会議室等で実施の場合、定員を通常の1/2とした。

空気の乾燥する冬季には、大型加湿器・空気清浄機を設置した。職員輪番でこれらについて給水・管理を行い、ウイルスの拡大しづらい環境維持を行う等、一人ひとりの感染防止意識の向上に努めた。

(2)職員の感染防止対策

出社日の検温を徹底し、出社時の手洗い、執務時間中のマスク着用の注意喚起を継続して行った。緊急事態宣言の発令中は在宅勤務・研修を実施し、事務室内の執務人数減を図った。

9 災害対策の推進

1 災害時危機管理対策

(1)大規模災害時に備え、システムデータの遠隔地バックアップを毎月実施した。

(8・3 IT推進・情報管理(1)③の再掲)

(2)訓練の実施及び防災意識の向上

令和3年度		令和2年度	
実施内容	実施回数	実施内容	実施回数
消防訓練(消防計画理解のための動画視聴)	1回	消防訓練(各職員の役割の確認)	1回
消防設備・避難経路確認訓練	1回	全職員を対象とした参集状況調査	1回
消火器試射訓練	1回	参集体制別的小グループ訓練	1回
防災訓練(防災計画理解のための動画視聴)	1回		
防災テント設営訓練	1回		

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、消防訓練・防災訓練ともに、消防計画・防災計画の内容を解説・補足した動画を作成し、職員が視聴した。また、1回10名程度を定員として、複数回に分けて、高田馬場事務所内の消防設備・避難経路等、建物周辺の危険箇所の確認及び消火器の試射訓練・防災テントの設営訓練を実施した。

2 災害ボランティアセンターの運営支援等

新型コロナウイルスをはじめとした、ウイルス等に関わる災害VC運営の考え方を区担当課と検討し、まとめた。

(1)「新宿区災害ボランティア養成講座」の実施

開催日時	内 容	講 師	参加者数等
9月1日 18時～ 19時30分	コロナ禍における災害支援の現状と 災害ボランティアの基本について学ぶ 「災害ボランティア講座」 ①新宿区の危機管理体制と被害想定等 ②コロナ禍における災害支援の現状 災害ボランティアセンターの役割と仕組み 災害ボランティアの心構え ③グループワーク 「災害時に自分ができること」	①大久保特別出張所長 ②特定非営利活動法人 ADRA Japan 小出 一博氏	来所 3人 WEB 29人
開催方法	WEB開催 ※WEB環境のない方は先着5名を社会福祉協議会にて受講可能とした。		

(2)地域での防災講座等への協力

例年、参加協力をしている区主催の「しんじゅく防災フェスタ」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止

(3)「新宿区災害ボランティア登録者 情報交換会」の実施

(4)新宿区災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施

(5)新宿区災害ボランティアセンター関係者団体意見交換会の実施

※(3)、(4)、(5)は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため中止

※ 各年度の実績は、いずれも3月末日現在のものです。
※ 本会では、事業報告の附属明細書を作成しておりません。